RICOH

imagio MP 5002/4002 シリーズ

使用説明書
〈こまったときには〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

5. スキャナー機能がうまく使えないとき

6. 用紙や原稿などがつまったとき

1. 本機の機能がうまく使えないとき

各機能に共通の、基本的なトラブルについて説明します。

よくあるご質問 -FAQ-

リコーではお客様からいただくよくあるご質問（FAQ）をホームページで公開しております。

お客様からよく寄せられるご質問をご覧いただけます。

ホームページの URL は次のようになります。

http://www.ricoh.co.jp/support/qa/

検索方法は以下の 2 種類があります。

自然文検索

空欄に質問文を入力し、検索ボタンを押してください。FAQ データベースから、該当する回答の候補を検索できます。

製品別検索

お客様からよく寄せられるご質問を、お使いの機器から選んで検索できます。

1

マークが表示されたとき

紙づまりや用紙補給など、お客様による操作が必要となったときに操作部に表示されるマークについて説明します。

マーク	状態
：用紙づまり表示	用紙がつまったときに表示されます。 紙づまりを取り除く方法は、P.121「用紙や原稿がつまったとき」を参照してください。
：原稿づまり表示	原稿がつまったときに表示されます。 紙づまりを取り除く方法は、P.121「用紙や原稿がつまったとき」を参照してください。
：用紙補給表示	用紙がなくなったときに表示されます。 用紙の補給方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙をセットする」を参照してください。
：トナー補給表示	トナーがなくなったときに表示されます。 トナーの補給方法は、『保守/仕様』「トナーを補給する」を参照してください。
：ステープル補給表示	ステープラーの針がなくなったときに表示されます。 ステープラーの針の補給方法は、『保守/仕様』「ステープラーの針を補充する」を参照してください。
：廃トナーボトル満杯表示	廃トナーが満杯になったときに表示されます。 販売店またはサービス実施店に連絡してください。
：パンチくず満杯表示	パンチくずが満杯になったときに表示されます。 パンチくずを取り除く方法は、P.133「パンチくずがいっぱいになったとき」を参照してください。
：サービスコール表示	機械が故障したり、修理が必要なときに表示されます。 リモートサービスについては、『保守/仕様』「リモート管理サービスを利用する」を参照してください。
：カバーオープン表示	本機の前カバー、両面ユニットなどが開いているときに表示されます。

ブザー音が鳴ったとき

本機は、機器の状況や原稿の置き忘れなどをブザー音でお知らせします。

ブザー音のパターン	意味	状態
“ピッ”	入力完了音	操作部や画面のキーを押したことをお知らせします。
“ピッピー”	入力無効音	無効なキーが押されたときやパスワード入力などを間違えたときにこの音が鳴ります。
“ピー”	正常終了音	コピー/ドキュメントボックス機能で印刷が終了したことをお知らせします。
“ピーピー”	準備完了音	スリープモードを解除したときや電源を入れたときに、コピーできる状態になったことをお知らせします。
“ピーピーピーピーピー”	弱注意音	コピー/ドキュメントボックス機能、ファクス機能またはスキャナー機能の簡単画面でオートリセットが働いたときにこの音が鳴ります。
“ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー” “ピーピーピーピーピー”	弱注意音 (同じパターンを 4 回繰り返します)	原稿ガラスに原稿を置き忘れたとき、用紙切れのときなどにこの音が鳴ります。
“ピッピッピッピッピ” “ピッピッピッピッピ” “ピッピッピッピッピ” “ピッピッピッピッピ” “ピッピッピッピッピ”	強注意音 (同じパターンを 5 回繰り返します)	紙づまり、トナー補給や何らかの異常により、お客様による対処が必要となったときにこの音が鳴ります。

補足

- 鳴動中のブザー音を止めることはできません。このため紙づまりやトナー補給のときに、前カバーなどの開閉を続けて行うと、本機が正常な状態に戻っていてもブザー音が鳴り続けることがあります。
- ブザー音を鳴らすか鳴らさないかの設定については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。

1

本機の状態や設定内容を確認する

保守／補給

保守／補給では次の項目が確認できます。

- トナー残量

  トナーの残量の目安がわかります。

- ステープルなし

  ステープルの針がなくなったかどうかがわかります。

- パンチくず満杯

  パンチくずが満杯かどうかがわかります。

- 給紙トレイ

  給紙トレイにセットされている用紙の種類とサイズなどがわかります。

- 排紙トレイ満杯

  排紙トレイに用紙が満杯になったかどうかがわかります。

- 原稿づまり

  原稿の紙づまり状態と対処方法がわかります。

- 用紙づまり

  用紙の紙づまり状態と対処方法がわかります。

- カバーオープン

  前カバー、両面ユニットなどが開いているかどうかがわかります。

メモリー／文書数

メモリー／文書数では次の項目が確認できます。

- HDD メモリー残量

  ハードディスクのメモリー残量がわかります。

- HDD 内文書数

  ハードディスク内に蓄積されている総文書数がわかります。

- プリンター文書

  ハードディスク内に蓄積されている保留印刷文書／保存文書／機密印刷文書／試し印刷文書数がわかります。

- ファクス送受信文書

  ファクスメモリー内に蓄積されている送信待機文書／封筒受信文書／受信印刷待機文書／「その他」の文書数がわかります。

- メモリー内データ

  メモリーにあるデータの状態がわかります。

機器アドレス/ファクス番号

機器アドレス/ファクス番号では次の項目が確認できます。

- ファクス番号

  本機のファクス番号がわかります。

- H.323 エイリアス電話番号

  本機のエイリアス電話番号がわかります。

- SIP ユーザー名

  本機の SIP ユーザー名がわかります。

- ファクスメールアカウント

  本機のファクスメールアカウントがわかります。

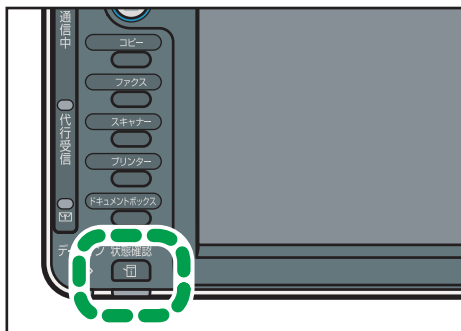
- 本体 IPv4 アドレス

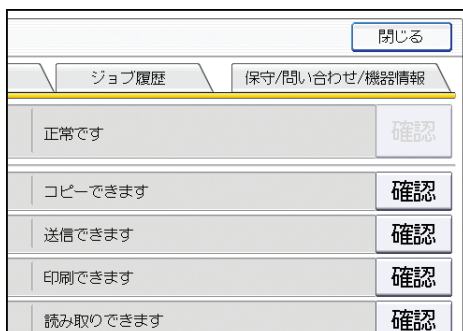
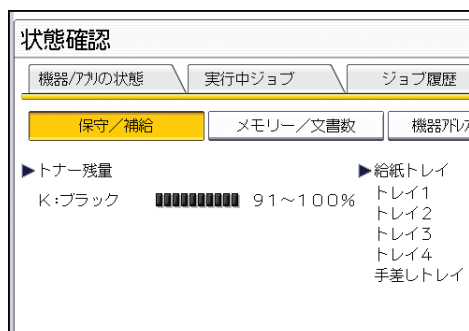
  本機の IPv4 アドレスがわかります。

- 本体 IPv6 アドレス

  本機の IPv6 アドレスがわかります。

  「手動設定アドレス」には手動で設定した IPv6 アドレスが表示されます。

1. [状態確認] キーを押します。

2. [保守/問い合わせ/機器情報] タブを押します。

1

3. 各キーを押して、内容を確認します。

4. 確認後、［閉じる］を押します。

補足

- 異常がないときは、［保守／補給］に［ステープルなし］、［パンチくず満杯］、［排紙トレイ満杯］、［原稿づまり］、［用紙づまり］、［カバーオープン］の項目は表示されません。
- セキュリティーの設定によっては［機器アドレス/ファクス番号］の項目が表示されないことがあります。
- 紙づまりの確認方法や紙づまりの取り除きかたは、P.121「用紙や原稿がつまったとき」を参照してください。

［状態確認］キーのランプが点灯したとき

［状態確認］キーのランプが点灯しているときは、［状態確認］キーを押して［状態確認］画面を表示します。［状態確認］画面で各機能の状態を確認してください。

［状態確認］画面

1. **［機器/アプリの状態］タブ**

   機器および各機能の状態を表示します。

2. **状態確認アイコン**

   表示されるアイコンが示す機器および機能の状態は次のとおりです。

   ：各機能でジョブを実行中です。

   ：機器でエラーが発生しています。

   ：各機能でエラーが発生しています。または機器でエラーが発生しているため、機能を使用できません。

3. **メッセージ**

   本機および各機能の状態のメッセージを表示します。

4. **［確認］**

   機器および各機能でエラーが発生しているときは、［確認］を押して詳細を確認します。エラーが発生している機器および機能の［確認］を押すとエラーメッセージまたは各機能の画面が表示されます。各機能の画面に表示されるエラーメッセージを確認して、その機能のメッセージが表示されたときの対処方法を参照してください。

   - P.21「コピー／ドキュメントボックス使用中にメッセージが表示されたとき」
   - P.37「ファクス使用中にメッセージが表示されたとき」
   - P.70「プリンター使用中にメッセージが表示されたとき」
   - P.99「スキャナー使用中にメッセージが表示されたとき」

ランプが点灯するおもな原因は次のとおりです。

状態	原因	対処方法と参照先
文書やレポートなどを印刷できない。	印刷中に用紙がなくなりました。	用紙を補給してください。用紙の補給方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙をセットする」を参照してください。
文書やレポートなどを印刷できない。	排紙先のトレイが用紙でいっぱいになっています。	トレイから用紙を取り除いてください。
エラーが発生した。	［状態確認］画面で「エラーが発生しました」と表示されている機能で問題が発生しています。	エラーが発生している機能の［確認］を押してください。そのあと画面に表示されるメッセージを確認して対処してください。詳しくは、各機能のメッセージが表示されたときの対処方法を参照してください。 その他の機能は通常どおり使えます。
ネットワークに接続できない。	何らかの理由で、ネットワークに接続できなくなりました。	• エラーが発生している機能の［確認］を押してください。そのあと画面に表示されるメッセージを確認して対処してください。詳しくは、各機能のメッセージが表示されたときの対処方法を参照してください。 • ネットワークに正しく接続されているか、また本機の設定が正しいか確認してください。接続方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」を参照してください。 • ネットワークの接続については、管理者に確認してください。 • 上記の対処をしても［状態確認］キーのランプが消灯しないときは、サービス実施店に連絡してください。

本機の操作ができないとき

メッセージはおもなものについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

重要

- **サービスコール（🔧）のメッセージには、連絡先と機械番号が表示されるので、確認のうえ、サービス実施店に連絡してください。連絡先が空欄のときは、販売店に連絡してください。**

状態	原因	対処方法と参照先
電源が入らない。	主電源スイッチが「Stand by」になっています。	主電源スイッチを「On」にしてください。
主電源スイッチを「On」にしてコピー機能の画面が表示されたが、ホーム画面に［ファクス］や［スキャナー］などのアイコンが表示されない。	コピー機能以外の機能が起動中です。各機能は起動にかかる時間が異なります。	しばらくお待ちください。
主電源スイッチを「On」にし、［初期設定/カウンター］キーを押して初期設定のメインメニューを表示させたが、すべての初期設定メニューが表示されない。	コピー機能以外の機能が起動中です。各機能は起動にかかる時間が異なります。初期設定メニューは起動した機能から順番に表示されます。	しばらくお待ちください。
［省エネ］キーを押しても、点灯したままでスリープモードにならない。	次のときは、［省エネ］キーを押しても、スリープモードになりません。 • 自動原稿送り装置（ADF）が開いているとき • 外部の機器と通信中のとき • ハードディスクが動作しているとき • ファクス機能で「ダイヤルイン」を設定しているとき • ファクス機能の「時刻指定送信」で 1 分以内に送信待ちの文書があるとき	自動原稿送り装置（ADF）を閉じ、外部の機器から本機への操作が行われていないことを確認してから、［省エネ］キーを押してください。
画面の表示が消えている。	低電力モードになっています。	画面または操作部のキーを押して、低電力モードを解除してください。

状態	原因	対処方法と参照先
画面の表示が消えている。	スリープモードになっています。	[省エネ] キーまたは [状態確認] キーを押してスリープモードを解除してください。
画面に「Please wait.」と表示されている。	[省エネ] キーを押して通常モードに戻るときに表示されます。	5 分以上たっても本機が立ち上がらなかったときは、主電源スイッチを「Stand by」にし、主電源ランプが消灯したのを確認して 10 秒以上待ってから「On」にしてください。その後、5 分以上たっても本機が立ち上がらなかったときは、サービス実施店に連絡してください。
画面に「おまちください」と表示されている。	本機が動作準備をしています。	• メッセージが消えるまでお待ちください。また、メッセージが表示されている間は、主電源スイッチを「Stand by」にしないでください。 • 5 分以上たっても本機が立ち上がらなかったときは、主電源スイッチを「Stand by」にし、主電源ランプが消灯したのを確認して 10 秒以上待ってから「On」にしてください。その後、5 分以上たっても本機が立ち上がらなかったときは、サービス実施店に連絡してください。
画面に「しばらくおまちください。」と表示されている。	トナーを補給したときなどに表示されます。	• メッセージが消えるまでお待ちください。また、メッセージが表示されている間は、主電源スイッチを「Stand by」にしないでください。 • 5 分以上たっても「しばらくおまちください。」の表示が消えなかったときは、主電源スイッチを「Stand by」にし、主電源ランプが消灯したのを確認して 10 秒以上待ってから「On」にしてください。その後、5 分以上たっても「しばらくおまちください。」の表示が消えなかったときは、サービス実施店に連絡してください。
画面に「Turn main Power Switch off」と表示されている。	主電源スイッチを「Stand by」にした直後に「On」にすると、正常な終了処理がされません。	主電源スイッチを「Stand by」にし、主電源ランプが消灯したのを確認して 10 秒以上待ってから「On」にしてください。

状態	原因	対処方法と参照先
画面に「シャットダウン中です。しばらくおまちください。処理後、自動的に主電源が切れます。最大待ち時間：2 分」と表示されている。	本機の起動中または待機中に主電源スイッチが「Stand by」にされたため、シャットダウン処理を行っています。	表示中のメッセージにしたがって、主電源が切れるまでそのままお待ちください。メッセージの表示中は主電源スイッチを「On」にしないでください。万が一主電源スイッチを「On」にしたときは、画面に表示されたメッセージにしたがってください。正しい電源の入れかた、切りかたについては、『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。
画面に「メモリーの容量が限界になりました。すでに読み取った文書を蓄積しますか？」と表示されている。	読み取られた原稿がハードディスクに蓄積できる枚数、ページ数を超えました。	• 読み取ったページまでを蓄積するときは、[蓄積する] を押します。不要になった文書を [文書消去] で消去してください。 • 読み取ったページまでを蓄積しないときは、[蓄積しない] を押します。不要になった文書を [文書消去] で消去してください。
ユーザーコード入力画面が表示されている。	ユーザーコード認証が設定されています。	ユーザーコード認証のログイン方法は、『本機のご利用にあたって』「ログイン画面が表示されたとき」を参照してください。
画面に「この機能を利用する権限はありません。」と表示されたまま画面が切り替わらない。	ログインしたユーザーにその機能を使用する権限が設定されていません。	権限の設定方法については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
ログイン画面が表示されている。	ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証のいずれかが設定されています。	[ログイン] を押し、個人ごとに設定されたログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。ログインについて詳しくは、『本機のご利用にあたって』「ログイン画面が表示されたとき」を参照してください。
画面に「認証に失敗しました。」と表示されている。	ログインユーザー名またはログインパスワードが間違っています。	ログインユーザー名またはログインパスワードを確認してください。ログインユーザー名やログインパスワードについては『セキュリティーガイド』を参照してください。
画面に「認証に失敗しました。」と表示されている。	本機が認証できない状況になっています。	認証については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
給紙トレイにつまった用紙を取り除いたが、操作部のエラーメッセージが消えない。	• 前カバーの開閉が行われていません。 • まだ取り除かれていない用紙があります。	つまった用紙を取り除いたあと、前カバーの開閉を行ってください。紙づまりの取り除きかたは、P.121「用紙や原稿がつまったとき」を参照してください。
消耗品の補給、または紙づまりを取り除いたが、画面のエラーメッセージが消えない。	HD キット未装着時、キーカード／コインラックのタイプによって、消耗品補給後、または紙づまり対処後に自動で再開しないことがあります。	［スタート］キーを押してください。
用紙の裏面に印刷された。	セットされている用紙の表と裏が逆になっています。	給紙トレイ、2 段給紙テーブル、またはトレイ 3（LCT）に用紙をセットするときは、印刷する面を上にセットしてください。大量給紙トレイまたは手差しトレイに用紙をセットするときは、印刷する面を下にセットしてください。
何度も用紙がつまる。	給紙トレイのサイドフェンス、エンドフェンスが正しくセットされていません。	• 用紙を取り除いてください。紙づまりの取り除きかたは、P.121「用紙や原稿がつまったとき」を参照してください。 • サイドフェンス、エンドフェンスが正しくセットされているか確認してください。また、サイドフェンスがロックされているかどうかも確認してください。サイドフェンス、エンドフェンスのセット方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙サイズを変更する」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	給紙トレイのサイズ設定と用紙のサイズが異なっています。	• 用紙を取り除いてください。紙づまりの取り除きかたは、P.121「用紙や原稿がつまったとき」を参照してください。 • 自動検知されないサイズの用紙をセットしているときは、操作部で用紙サイズを設定してください。操作部で用紙サイズを設定する方法は、『用紙の仕様とセット方法』「自動検知されないサイズの用紙をセットする」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
何度も用紙がつまる。	フィニッシャーのトレイに物を置いています。	• 用紙を取り除いてください。紙づまりの取り除きかたは、P.121「用紙や原稿がつまったとき」を参照してください。 • フィニッシャーのトレイの上に物を置かないでください。
両面印刷できない。	使用しているトレイが「用紙設定」で両面印刷の対象外に設定されています。	「システム初期設定」で使用するトレイの「両面印刷の対象」の設定を変更してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。
両面印刷できない。	両面印刷に対応していない用紙種類に設定されているときは、両面印刷できません。	「システム初期設定」で使用するトレイの「用紙種類設定」の設定を両面印刷に対応する用紙に変更してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。
ドキュメントボックスに保存された文書が Web Image Monitor から印刷できない。	印刷利用量制限が設定されているときは、すでに制限枚数を超えているとジョブが強制的にキャンセルされ印刷できません。	• 印刷利用量制限の設定については、『セキュリティーガイド』を参照してください。 • 印刷実行したジョブの状況については、Web Image Monitor の[機器の情報]の[ジョブ]をクリックし、「ドキュメントボックス」から[印刷ジョブ履歴]画面を確認してください。
画面に「下記の排紙先が満杯になりました。用紙を取り除いてください。」と表示されている。	排紙先のトレイが満杯です。	排紙トレイから用紙を取り除いてください。排紙先がフィニッシャー・シフトトレイのときは、トレイ上の用紙が落下するのを防止するため、[ストップ]キーを押して印刷を一時停止してからすべての用紙を取り除いてください。印刷を再開するときは、画面に表示されている[継続]を押します。
操作部または Web Image Monitor からアドレス帳を変更したときにエラーになる。	複数の蓄積文書の消去中は、アドレス帳の変更ができません。	しばらくしてからもう一度操作をやり直してください。
消耗品の自動発注に失敗しました。	消耗品の自動発注に失敗しました。	サービス実施店に連絡してください。

状態	原因	対処方法と参照先
画面に「他の機能でホームを使用中です。」と表示される。	他の機能でホーム画面を編集中です。	しばらく待ってから、もう一度ホーム画面にショートカットを登録してください。
画面に「ホーム画像用データのサイズが正しくありません。」と表示される。	ショートカットの画像として登録できないファイルサイズの画像を指定しました。	ショートカットの画像として登録できるファイルについては『便利な機能』「ホーム画面に画像を表示する」を参照してください。
画面に「ホーム画像用データの形式が正しくありません。」と表示される。	ショートカットの画像として登録できない形式の画像を指定しました。	ショートカットの画像として登録するファイル形式は、JPEG ファイルを指定してください。画像を指定し直してください。

補足

- カールした用紙を使用すると、紙づまりや用紙縁の汚れ、ステープル／スタック時の位置ずれなどが発生することがあります。カールした用紙を使用するときは、用紙をぱらぱらとほぐしてカールを直し、裏返してセットしてください。また、用紙がカールしないよう、立てかけずに平らなところに置いて保管してください。
- 用紙の種類、用紙の状態、用紙のセット枚数などによっては、思いどおりの画像にならないときがあります。適切な用紙を使用してください。適切な用紙について詳しくは、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙」を参照してください。

機能が実行されないとき

機能が実行されないときは、別の機能で使用していることがあります。

指定した機能が実行されないときは、使用中の機能を終了してから、使用する機能を実行してください。機能の組み合わせによっては、使用中の機能を終了させることなくほかの機能を実行できます。

複数の機能を同時に使用するときの組み合わせについては、P.20「機能組み合わせ一覧」を参照してください。

補足

- ステープルは複数の機能で同時に使用できません。
- 同時処理が可能なときに優先する機能は「システム初期設定」の「印刷優先機能設定」で設定します。工場出荷時は「表示機能」に設定されています。「印刷優先機能設定」については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。
- 本体上トレイ、本体シフトトレイ、左トレイ、1000 枚フィニッシャー、2000 枚中とじフィニッシャー、3000 枚フィニッシャーを装着したときは、機能ごとに排紙先を設定できます。排紙先トレイの設定について詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。
- 印刷動作中にほかの機能で原稿を読み取ったときは、原稿読み取り速度が遅くなることがあります。
- システム初期設定の「印刷優先機能設定」を「プリンター」に設定しプリンター機能を使用してドキュメントボックスへ蓄積した文書を印刷しているときは、後から以下の印刷ジョブを実行しても印刷が優先されないことがあります。優先するときは、システム初期設定の「印刷優先機能設定」を「割り込み印刷」に設定してください。
    - ファクス機能での Mail to Print
    - プリンタードライバーからの印刷
    - メディアプリントでの印刷

機能組み合わせ一覧

機能組み合わせ一覧

下記の表は、「システム初期設定」の「印刷優先機能設定」が「割り込み印刷」に設定されているときの組み合わせです。

◎：同時処理できます。

●：機能キーを押す、またはリモートの切り替え（スキャナー、外部拡張）で処理できます。

○：［割り込み］キーで前の機能を一時停止させると、処理できます。

▲：前の処理が終了してから、自動的に処理されます。

×：前の動作が終了してから、あらためて操作が必要です。同時に操作、動作できません。

動作中の機能 \ 動作させたい機能		コピー			割り込みコピー		ファクス						プリンター			スキャナー		TWAIN	ドキュメントボックス			Ridoc Desk Navigator		Web ドキュメントボックス
								送信			受信			印刷										
		操作	ステープルコピー中	通常コピー中	操作	コピー中	送信操作	メモリー送信の原稿読み取り中	メモリー送信中	直接送信中	メモリーでの受信中	受信データなどの印刷中	データ受信中	通常印刷中	ステープル印刷中	操作	読み取り	読み取り	操作	読み取り	印刷	印刷	ファクス送信	印刷
コピー	操作	×	×	×	○	○	●	●	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	◎	◎	◎
コピー	ステープルコピー中	◎*1	▲*1	▲*1	○	○*5	●	●*2	◎	●*2	◎	◎	◎	◎	◎	●	●*2	×	●	●*2	◎*4	◎	◎	◎*4
コピー	通常コピー中	◎*1	▲*1	▲*1	○	○	●	●*2	◎	●*2	◎	◎	◎	◎	◎	●	●*2	×	●	●*2	◎	◎	◎	◎
割り込みコピー	操作	○	○	○	×	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	○	×	×	×	◎	◎	◎
割り込みコピー	コピー中	○	○	○	×	×	×	×	◎	×	◎	▲	◎	▲	▲	×	×	○	×	×	×	▲	◎	▲
ファクス	送信操作	●	●	●	○	○	×	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	◎	◎	◎
ファクス	送信 メモリー送信の原稿読み取り中	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	×	×	◎	◎	◎
ファクス	送信 メモリー送信中	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎*3	◎*3	◎*3	◎*7	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎*3	◎
ファクス	送信 直接送信中	×	×	×	×	×	×	×	◎*3	×	◎*3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	×	×	◎	◎*3	◎
ファクス	受信 メモリーでの受信中	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎*3	◎*3	◎*3	◎*7	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎*3	◎
ファクス	受信 受信データなどの印刷中	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎*7	◎	◎*7	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎*7	◎
プリンター	データ受信中	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	▲	▲	▲	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
プリンター	印刷 通常印刷中	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	▲	▲	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
プリンター	印刷 ステープル印刷中	◎	▲	◎	○	○*5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	▲	▲	◎	◎	◎	◎	◎	◎*4	◎*4	◎	◎*4
スキャナー	操作	●	●	●	○	○	●	●	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	●	●	●	●	◎	◎	◎
スキャナー	読み取り	●	●*2	●*2	○*2	○*2	●	●*2	◎	●*2	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	●	×	●	◎	◎	◎
TWAIN	読み取り	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	×	◎	◎	◎	◎
ドキュメントボックス	操作	●	●	●	○	○	●	●	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	●	●	●	×	×	×	◎	◎	◎
ドキュメントボックス	読み取り	●	×	×	○	○	●	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	●	●*2	×	×	×	×	◎	◎	◎
ドキュメントボックス	印刷	●	◎*4	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎*6	◎*6	◎*6	◎	◎	◎
Ridoc Desk Navigator	印刷	◎	◎*4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	▲	◎	◎
Ridoc Desk Navigator	ファクス送信	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎*3	◎*3	◎*3	◎*3	◎*7	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	▲	◎
Web ドキュメントボックス	印刷	◎	◎*4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

*1 前のコピー原稿読み取りが終了し、［新規予約］が表示されたときに有効です。

*2 前の機能の原稿読み取り動作が終了しているときに原稿読み取りできます。

*3 動作中の回線と異なる回線を使用するときにできます。

*4 ステープル使用中のときは、前の印刷が終了してから自動的に印刷を開始します。

*5 ステープルは使用できません。

*6［新規予約］を押すと操作できます。

*7 並行して受信しているときは、その受信が終了するまであとから操作した機能は処理されません。

CNF001

2. コピー／ドキュメントボックス機能がうまく使えないとき

コピー／ドキュメントボックス機能がうまく使えないときの原因と対処方法を説明します。

コピー／ドキュメントボックス使用中にメッセージが表示されたとき

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

重要

- **サービスコール（🔧）のメッセージには、連絡先と機械番号が表示されるので、確認のうえサービス実施店に連絡してください。連絡先が空欄のときは、販売店に連絡してください。**
- **ここに記載されていないメッセージは、P.13「本機の操作ができないとき」を参照してください。**

メッセージ	原因	対処方法と参照先
おまちください。	Web Image Monitor を使って、ネットワーク上から宛先登録を実行しています。	メッセージが消えるまでお待ちください。また、メッセージが表示されている間は、主電源スイッチを「Stand by」にしないでください。なお、登録する宛先の数によっては、しばらく操作できないことがあります。
原稿サイズがわかりません。	サイズを読み取りにくい原稿がセットされています。	• 原稿は読み取り面を下にして、原稿ガラスにセットしてください。 • サイズを読み取りにくい原稿のとき、用紙の選択は「自動用紙選択」を使わず用紙トレイを指定して、拡大／縮小コピーは「用紙指定変倍」以外の方法を指定してください。サイズを読み取りにくい原稿については、『用紙の仕様とセット方法』「サイズを読み取りにくい原稿」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
原稿サイズがわかりません。	原稿がセットされていません。または不定形サイズの原稿です。	• 原稿を正しくセットしてください。 • 原稿サイズを指定してください。 • 原稿ガラスで読み取るときは、自動原稿送り装置（ADF）の開閉で原稿サイズが検知されます。30 度以上の角度で確実に開けてください。
異なる画質が混在のため週刊誌・ミニ本できません。	コピー機能で読み取った文書とプリンター機能で蓄積した文書を混載して、週刊誌・ミニ本機能を指定しています。	異なる機能で蓄積したデータに、週刊誌・ミニ本機能は指定できません。読み取り方法を一致させてください。
この用紙サイズは回転ソートできません。	回転ソートできない用紙を選択しています。	回転ソートできる用紙サイズについて詳しくは、『コピー/ドキュメントボックス』「ソート」を参照してください。
この用紙サイズはステープルできません。	ステープルできない用紙を選択しています。	ステープルできる用紙サイズについて詳しくは、『保守/仕様』「1000 枚フィニッシャーの仕様」、「3000 枚フィニッシャーの仕様」、「2000 枚中とじフィニッシャーの仕様」を参照してください。
この用紙サイズはパンチできません。	パンチできない用紙を選択しています。	パンチできる用紙サイズについて詳しくは『保守/仕様』「3000 枚フィニッシャーの仕様」、「2000 枚中とじフィニッシャーの仕様」を参照してください。
この用紙サイズは両面コピーできません。	両面コピーできない用紙を選択しています。	両面コピーできる用紙サイズについて詳しくは『保守/仕様』「本体仕様」を参照してください。
コピー枚数は n 枚までです。 (n には数字が入ります。)	コピー枚数の上限を超えています。	「コピー／ドキュメントボックス初期設定」の「コピーセット枚数制限設定」から一度にコピーする枚数の上限を変更できます。変更方法の詳細は、『コピー/ドキュメントボックス』「基本コピー設定」を参照してください。
使用可能枚数を超えました。コピーを中止します。	ユーザーに許可されたコピー枚数を超えたため、コピーを中止しました。	ユーザーに許可されているコピーの利用量の確認については『セキュリティーガイド』を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ステープル可能枚数を超えました。	ステープルできる枚数の上限を超えています。	ステープル可能枚数についての詳細は『保守/仕様』「1000 枚フィニッシャーの仕様」、「3000 枚フィニッシャーの仕様」、「2000 枚中とじフィニッシャーの仕様」を参照してください。
選択された文書にアクセス権のない文書が含まれていました。アクセス権のある文書のみ消去されます。	削除する権限のない文書を削除しようとしました。	文書作成者が削除できます。削除する権限のない文書を削除するときは、文書作成者に確認してください。
他の機能で原稿読み取り中です。下記の機能に切り替え、読み取りを中止する場合はストップキー、継続する場合はスタートキーを押してください。	本機が、ドキュメントボックスなどのコピー以外の機能で使用されています。	ほかの機能での操作を終了させてください。たとえば、[確認]を押したあと、[ホーム]キーを押します。ホーム画面上の[ドキュメントボックス]アイコンを押して、画面を表示させます。[ストップ]キーを押し、「ストップキーが押されたため、スキャナーの読み取りと停止可能な印刷ジョブを停止しました。読み取りと印刷を継続する場合は[継続]、読み取りを中止する場合は[読み取り中止]を押してください。停止した印刷ジョブを削除する場合は[ジョブ一覧]を押してください。」と表示されたら[読み取り中止]を押してください。
蓄積中の文書が 1 文書あたりのページ数の限界に達しました。コピーを中止します。	読み取られた原稿が 1 文書として蓄積できるページ数を超えました。	[確認]を押し、原稿を蓄積可能ページ数に調節してから蓄積してください。
蓄積中の文書が 1 文書あたりのページ数の限界に達しました。読み取った分までを 1 つの文書として蓄積しますか？ [蓄積しない] [蓄積する]	読み取られた原稿が 1 文書として蓄積できるページ数を超えています。	• 読み取った分までを 1 文書としてドキュメントボックスに蓄積するときは、[蓄積する]を押します。 • 読み取った分を蓄積しないときは、[蓄積しない]を押します。読み取った原稿はすべてクリアされます。
この機能を利用する権限はありません。	ログインしたユーザーにその機能を使用する権限が設定されていません。	権限の設定方法については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
用紙サイズを確認してください。	適切な用紙がありません。	[スタート]キーを押すと選択されている用紙にコピーされます。

コピーがきれいにとれないとき

状態	原因	対処方法と参照先
地肌が汚れている。	コピー濃度が濃く設定されています。	コピー濃度を調整してください。コピー濃度の調整については、『コピー/ドキュメントボックス』「コピー濃度を調整する」を参照してください。
地肌が汚れている。	自動濃度が選択されていません。	画面の［自動濃度］を選択してください。
かすれてコピーされる。	コピー濃度が薄く設定されています。	コピー濃度を調整してください。コピー濃度の調整については、『コピー/ドキュメントボックス』「コピー濃度を調整する」を参照してください。
かすれてコピーされる。	目の粗い用紙や表面が加工されている用紙、湿気を含んだ用紙にコピーするとかすれてコピーされることがあります。	当社推奨の用紙を使用してください。また、適度な温度と湿度で保管した用紙を使用してください。適切な用紙とその保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」、「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
部分的に写らない個所がある。	用紙に湿気が含まれています。	用紙を適度な温度と湿度で保管してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
原稿にないものがコピーされる。	自動原稿送り装置（ADF）のガイド板、原稿ガラスまたは読み取りガラスが汚れています。	自動原稿送り装置（ADF）のガイド板、原稿ガラスまたは読み取りガラスを清掃してください。清掃方法は、『保守/仕様』「本機を清掃する」を参照してください。
原稿にないものがコピーされる。	• コピーした原稿や品質の悪い原稿をセットしています。 • 原稿種類選択の「文字・写真」選択時、文字原稿と写真画像を区別しにくい原稿がセットされています。	コピー初期画面で［複写原稿］を選択してください。
原稿の裏面が透けてコピーされる。	コピー濃度が濃く設定されています。	コピー濃度を調整してください。コピー濃度の調整については、『コピー/ドキュメントボックス』「コピー濃度を調整する」を参照してください。
原稿の裏面が透けてコピーされる。	自動濃度が選択されていません。	コピー初期画面で［自動濃度］を選択してください。

状態	原因	対処方法と参照先
原稿の裏面が透けてコピーされる。	薄い原稿用紙を使用しています。	コピー初期画面で［自動濃度］を選択してください。またはコピー濃度を調整してください。コピー濃度の調整については、『コピー/ドキュメントボックス』「コピー濃度を調整する」を参照してください。
はり合わせた部分に影が付く。	コピー濃度が濃く設定されています。	• コピー濃度を調整してください。コピー濃度の調整については、『コピー/ドキュメントボックス』「コピー濃度を調整する」を参照してください。 • 原稿のセット方向を変えてください。 • はり合わせた部分にメンディングテープを使用してください。
画像が欠ける。	原稿のセット位置が間違っています。	原稿を正しくセットしてください。原稿のセット方法については、『コピー/ドキュメントボックス』「原稿の設定」を参照してください。
画像が欠ける。	適切なサイズの用紙が選択されていません。	適切なサイズの用紙を選択し直してください。
画像が欠ける。	原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）に正しくセットしても、原稿の周囲から内側数 mm はコピーできないことがあります。	「すこし小さめ」機能で画像を縮小してコピーし直してください。「すこし小さめ」については、『コピー/ドキュメントボックス』「すこし小さめ」を参照してください。
スジ状の汚れが出る。	自動原稿送り装置（ADF）のガイド板、原稿ガラスまたは読み取りガラスが汚れています。	自動原稿送り装置（ADF）のガイド板、原稿ガラスまたは読み取りガラスを清掃してください。清掃については、『保守/仕様』「本機を清掃する」を参照してください。
白いスジが出る。	原稿ガラスまたは読み取りガラスが汚れています。	原稿ガラスまたは読み取りガラスを清掃してください。清掃については、『保守/仕様』「本機を清掃する」を参照してください。
コピーされないまたは白紙でコピーされる。	原稿のセット面が間違っています。	原稿ガラスにセットするときはコピーする面を下に、自動原稿送り装置（ADF）にセットするときはコピーする面を上にしてください。

状態	原因	対処方法と参照先
モアレが発生している。	モアレの発生しやすい向きに原稿がセットされています。	モアレとは、画像を処理するときに規則正しく配列された網点、または線が重なりあって発生する縞模様（干渉縞）のことです。原稿のセット方向を変更するとモアレを防止できることがあります。
原稿が印画紙写真（プリント／現像された写真）のとき、黒い斑点がコピーされる。	湿度が高く、印画紙写真が原稿ガラスに貼りついています。	• OHP フィルムを原稿ガラスに置き、その上に印画紙写真をセットしてください。 • 原稿ガラスにセットした印画紙写真の上に白紙を 2、3 枚重ねてください。このときは自動原稿送り装置（ADF）は閉じないでください。
コピーにシワが出る。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度と湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
OHP に白い帯が出る。	用紙から脱落した紙粉が OHP に付着しています。	OHP の裏面に付着した紙粉を乾いた布で拭きとってください。
水滴状に白抜けするまたは汚れる。	用紙から発生した水蒸気が用紙に付着して画像が水滴状に白く抜けたり、トナーで汚れることがあります。	• 本機を低温にならない場所に設置してください。 • 適度な温度湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。

思いどおりにコピーできないとき

基本機能

状態	原因	対処方法と参照先
何度も用紙がつまる。	セットされている用紙が多すぎます。	給紙トレイのサイドフェンスまたは手差しトレイの用紙ガイド板の内側に表示されている上限表示の線を越えないように用紙をセットしてください。また、複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をぱらぱらとほぐしてからセットしてください。
何度も用紙がつまる。	サイドフェンスがきつくセットされています。	サイドフェンスを軽く突き当て直してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度と湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙が厚すぎるか、薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に折り目やシワがあります。	当社推奨の用紙を使用してください。また、適度な温度と湿度で保管した用紙を使用してください。適切な用紙とその保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」、「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	一度印刷した用紙を使用しています。	本機以外で一度コピーまたは印字された用紙は再使用しないでください。
何度も用紙がつまる。	用紙が密着しています。	用紙をぱらぱらとほぐしてからセットしてください。または 1 枚ずつ送ってください。
用紙にシワがよる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
用紙にシワがよる。	用紙が薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
用紙の先端が折れる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度と湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
用紙の先端が折れる。	推奨以外の用紙を使用しています。	適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
紙が重なって送られる。	用紙が密着しています。	用紙をぱらぱらとほぐしてからセットしてください。または 1 枚ずつ送ってください。
ステープルされない。	ステープラーの針がつまっています。	つまっている針を取り除いてください。針づまりの取りかたは、P.129「ステープラーの針がつまったとき」を参照してください。
ステープルされない。	紙がカールしています。	用紙を裏返してセットしてください。
複数の束に分かれてステープルされる。	一度にステープルできる枚数を超えています。	ステープル可能枚数については、『保守/仕様』「1000 枚フィニッシャーの仕様」、「3000 枚フィニッシャーの仕様」、「2000 枚中とじフィニッシャーの仕様」を参照してください。
ステープルの位置が違う。	原稿のセット方向と選択したステープルの位置が合っていません。	ステープルするときの原稿のセット方法は、『コピー/ドキュメントボックス』「ステープル」を参照してください。
ステープル印刷時に用紙が排紙されない。	ステープル印刷の途中で印刷を中止したとき、印刷途中でステープルされなかった用紙がステープルユニットに残ることがあります。	［リセット］キーを押し、ステープルを含む前のコピー設定を解除してください。 ステープルユニットに残った用紙は、手動で取り除く必要があります。
中とじのとき折り目が開き、きれいにスタックされない。	用紙の特性によっては折ったときの反発のため開いてしまうことがあります。	適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
複数のコピー機能を設定したとき、設定されない機能がある。	組み合わせることのできないコピー機能を設定しています。	コピー機能の組み合わせについて詳しくは、『コピー/ドキュメントボックス』「機能組み合わせ一覧」を参照してください。
ページが分割されてソートされる。	途中でメモリーがいっぱいになり、分割して排出しました。	「コピー／ドキュメントボックス初期設定」で「ソート全数読み取り設定」を変更してください。 設定項目については、『コピー/ドキュメントボックス』「周辺設定」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
画像がグレーにつぶれてコピーされる。または地に文字が浮き出てコピーされる。	不正コピー抑止印刷された文書をコピーしています。	不正コピーの抑止については、『プリンター』「複製できない文書を印刷する」を参照してください。
画像が斜めに印刷される。	給紙トレイのサイドフェンスが正しくセットされていません。	サイドフェンスが正しくセットされているか確認してください。給紙トレイのセット方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙サイズを変更する」を参照してください。
画像が斜めに印刷される。	用紙が斜めに搬送されています。	用紙の正しいセット方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙をセットする」を参照してください。
画像が斜めに印刷される。	自動原稿送り装置（ADF）の原稿ガイドが正しくセットされていません。	自動原稿送り装置（ADF）の原稿ガイドが正しくセットされているか確認してください。自動原稿送り装置（ADF）のセット方法は、『用紙の仕様とセット方法』「自動原稿送り装置（ADF）にセットする」を参照してください。
小サイズカセットを装着したトレイから印刷できない。	小サイズ紙用トレイを使用しないように設定しています。	［システム初期設定］の［小サイズ紙用トレイ設定］を変更してください。［小サイズ紙用トレイ設定］については『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。
小サイズ紙が選択できない。	小サイズ紙用トレイを使用しないように設定しています。	［システム初期設定］の［小サイズ紙用トレイ設定］を変更してください。［小サイズ紙用トレイ設定］については『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。

編集

状態	原因	対処方法と参照先
ダブルコピーしたとき、画像が欠ける。	原稿と用紙サイズの組み合わせが間違っています。	ダブルコピーするときの原稿と用紙サイズの組み合わせについては、『コピー/ドキュメントボックス』「ダブルコピー」を参照してください。
消去（枠／センター／センター・枠）したとき、画像が欠ける。	消去幅の値を大きく設定しています。	消去幅の値を小さく設定し直してください。

状態	原因	対処方法と参照先
消去（枠／センター／センター・枠）したとき、画像が欠ける。	原稿サイズが正しく読み取られていません。	正しく原稿をセットしてください。
とじしろで画像が欠ける。	• とじしろ幅の値を大きく設定しています。 • 原稿のとじ位置の反対側の余白が不足しています。	とじしろ幅の値を小さく設定し直してください。
リピートされない。	原稿と同じサイズの用紙を選択しているか、変倍率を設定していません。	原稿より大きいサイズの用紙を選択してください。または、変倍率を設定してください。

印字

状態	原因	対処方法と参照先
思いどおりの位置に印字されない。	原稿のセット方向が違っています。	原稿セット方向と印字位置を設定し直してください。
両面時、用紙の裏側に印字されない。	用紙の大きさとうら面の印字位置の設定が合っていません。	うら面の印字位置を確認してください。「うら面印字位置」については、『コピー/ドキュメントボックス』「印字編集設定」を参照してください。

集約

状態	原因	対処方法と参照先
「ミニ本」「週刊誌」を折っても本のようにならない。	ひらき方向の設定が原稿と合っていません。	「コピー／ドキュメントボックス初期設定」の「ひらき方向：ミニ本・週刊誌」の設定を変更してください。 設定項目については、『コピー/ドキュメントボックス』「基本編集設定」を参照してください。
集約時、画像が欠けるまたは余白ができる。	原稿サイズと拡大／縮小率と用紙の組み合わせが間違っています。	用紙指定変倍を設定すると、原稿とコピーする用紙に合った倍率でコピーします。 また、変倍率を選択してから集約を設定し、コピーすることもできます。設定方法については、『コピー/ドキュメントボックス』「片面集約」、「両面集約」、「用紙指定変倍」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
順番どおりにコピーされない。	原稿をセットする順番が間違っています。	自動原稿送り装置（ADF）にセットするときは、原稿の先頭ページを一番上にしてセットしてください。 原稿ガラスにセットするときは、原稿は先頭ページから順にセットしてください。

両面

状態	原因	対処方法と参照先
両面印刷ができない。	160g/m^2を超える厚紙をセットしています。	印刷する用紙を変更してください。
両面印刷ができない。	両面印刷に対応していない用紙種類を使用しています。	両面印刷に対応している用紙種類を指定してください。両面印刷できる用紙種類については、『保守/仕様』「本体仕様」を参照してください。
両面印刷ができない。	使用しているトレイが「用紙設定」で両面印刷の対象外に設定されています。	「システム初期設定」で使用するトレイの「両面印刷の対象」の設定を変更してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。
順番どおりにコピーされない。	原稿をセットする順番が間違っています。	自動原稿送り装置（ADF）にセットするときは、原稿の先頭ページを一番上にしてセットしてください。 原稿ガラスにセットするときは、原稿は先頭ページから順にセットしてください。
両面時、「左右ひらき」を選択したのに上下開きでコピーされる。または「上下ひらき」を選択したのに左右開きでコピーされる。	原稿のセット方向が間違っています。	原稿のセット方向を正しく設定してください。原稿のセット方向については、『コピー/ドキュメントボックス』「両面にコピーする」を参照してください。

ドキュメントボックス

状態	原因	対処方法と参照先
「このページはプレビューを表示できません。」と表示されて、サムネール画像が確認できない。	画像データのフォーマットが壊れていることがあります。	[確認] を押すと、サムネール画像なしのプレビュー画面となります。 選択した文書に複数のページがあるときは、[表示ページ切り替え] を押してほかのページに切り替えることで、プレビュー画像を表示できます。

状態	原因	対処方法と参照先
文書にアクセスできない。	• 文書がパスワードで保護されています。 • パスワードが間違っています。	パスワードで保護された文書については『セキュリティーガイド』を参照してください。
蓄積した文書がわからない。	文書名では内容が判断できないときがあります。	文書選択画面ではリストとサムネールを切り替えて情報を確認してください。 • リスト表示 文書名以外に保存した日付、ユーザー名が表示されます。 • サムネール表示 蓄積されている画像イメージが画面に表示されます。 ドキュメントボックス画面の表示については、『本機のご利用にあたって』「ドキュメントボックス機能の画面の見かた」を参照してください。
頻繁にメモリーが不足する。	ドキュメントボックスのメモリー容量がいっぱいになっています。	不要になった文書を文書選択画面で選択し、［文書消去］で削除してください。それでもメモリーが不足するときは、以下のことを実行してください。 • スキャナー機能に切り替え、スキャナーから蓄積した文書を削除してください。 • プリンター機能に切り替え、試し印刷、機密印刷、保留印刷または保存印刷で蓄積した文書を削除してください。

コピー／ドキュメントボックス使用中にメモリーがいっぱいになったとき

メッセージ	原因	対処方法と参照先
残った原稿のコピーを再開します。 [継続]キーを押してください。	読み取ったページまでのコピーが排出されたので、残りの原稿のコピーを継続するか確認されました。	• 残りの原稿の読み込みを再開するときは、必ずコピーを取り除いてから、［継続］を押します。 • 残りの原稿の読み込みを中止するときは、［中止］を押します。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
メモリーがいっぱいになりました。nn ページ目まで読み取りました。 [印刷]キーを押すと読み取った原稿をコピーします。残った原稿はそのままにしてください。 (n には数字が入ります。)	読み取られた原稿がメモリーに蓄積できる枚数を超えました。	• 読み取ったページまでのコピーを排出するときは［印刷］を押します。読み取ったページまではコピーが排出され、メモリー内の画像はクリアされます。 • 読み取った原稿の画像をクリアし、コピーを中止するときは、［メモリー消去］を押します。

2

補足

- 「ソート全数読み取り設定」が「する」に設定されているときは、メッセージは表示されません。メモリーがいっぱいになったときも、読み取ったページまでをコピーし、継続して残った原稿のコピーを仕上げます。ただし、ページ順が分かれて仕上がります。「ソート全数読み取り設定」については、『コピー/ドキュメントボックス』「周辺設定」を参照してください。

3. ファクス機能がうまく使えないとき

ファクス機能がうまく使えないときの原因と対処方法を説明します。

音量を調節するとき

オンフックや直接送信時に本体内部のスピーカーから聞こえるモニターやブザーの音量を調節します。

調節できる音は次のとおりです。

オンフック時

［オンフック］を押したときに聞こえる音です。

送信時

直接送信するときに聞こえる音です。

受信時

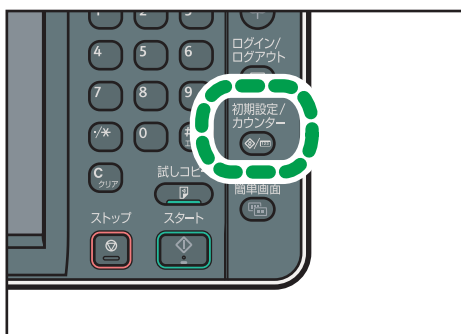
受信するときに聞こえる音です。

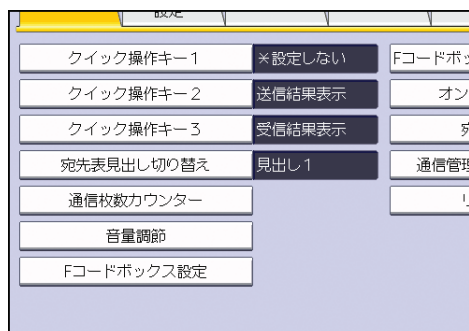
発信時

［スタート］キーを押してから相手先のファクスにつながる間に聞こえる音です。

受信印刷時

受信文書の印刷が終了したときに鳴る音です。

1. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

2. ［ファクス初期設定］を押します。
3. ［基本設定］の画面が表示されていることを確認します。

4. [音量調節] を押します。

5. [小さく] または [大きく] を押して音量を調節し、[設定] を押します。

[確認] を押すと、音量を確認できます。

音量は 8 段階で調節できます。

6. [初期設定/カウンター] キーを押します。

補足

- オンフック時の音量は、[オンフック] を押したときにも調節できます。オンフック時の音量の調節について詳しくは、『ファクス』「オンフックダイヤル（オンフックを使用した送信）」を参照してください。
- ハンドセットのベル音量も調節できます。ハンドセットのベル音量の調節について詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「ハンドセットを設定する」を参照してください。

3

ファクス使用中にメッセージが表示されたとき

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

補足

- 「システム初期設定」「ファクス初期設定」で確認できる設定は、Web Image Monitor からも確認できます。Web Image Monitor からの確認方法は Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
LDAP サーバーとの接続に失敗しました。 LDAP サーバーの動作状況や接続を確認してください。	LDAP サーバーへの接続時にネットワーク上のエラーが発生しました。	もう一度接続し直しても同じメッセージが表示されるときは、ネットワークの混雑が原因として考えられます。 または「システム初期設定」で LDAP サーバーの設定情報を確認してください。設定情報について詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「LDAP サーバーを設定する」を参照してください。
LDAP サーバーとの認証に失敗しました。 設定内容を確認してください。	ユーザー名、パスワードが LDAP 認証で設定したものと異なっています。	LDAP 認証のユーザー名やパスワードを正しく設定してください。LDAP 認証について詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。
相手機が IP ファクスに対応していません。送信を中止しました。	[IP ファクス送信ルート自動切替(IP/G3)］を［しない］に設定しているときに、IP ファクスに対応していない宛先に直接送信しました。	送信ルートを自動で切り替えるときは、「ファクス初期設定」の［IP ファクス送信ルート自動切替(IP/G3)］を［する］に変更してください。IP ファクスの設定について詳しくは、『ファクス』「導入設定」を参照してください。
SIP ユーザー名の変更をホームゲートウェイに反映できませんでした。 ファクス初期設定またはホームゲートウェイの設定を確認してください。	SIP ユーザー名を変更したときに指定した SIP ユーザー名が正しくないか、またはほかの端末で使用中です。	SIP ユーザー名を指定し直してください。 SIP ユーザー名について詳しくは『ファクス』「導入設定」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
宛先表／機器設定が更新されました。すでに選択されている宛先および機能は解除されます。もう一度選択しなおしてください。	Web Image Monitor を使って、ネットワーク上から宛先登録を実行しています。	メッセージが消えるまでお待ちください。また、メッセージが表示されている間は、主電源スイッチを「Stand by」にしないでください。なお、登録する宛先の数によっては、しばらく操作できないことがあります。
エラーが発生したため、処理を中止しました。	インターネットファクスを受信中に、本機の主電源スイッチが「Stand by」になりました。	すぐに本機の主電源スイッチを「On」にしても、メールサーバーによってはタイムアウト時間が過ぎないと受信を再開できないことがあります。メールサーバーのタイムアウト時間を過ぎてから受信を再開してください。メールサーバーのタイムアウト時間については管理者に確認してください。
エラーが発生したため、送信を中止しました。	• 直接送信中に原稿がつまりました。 • 本機の不具合や電話回線の影響（雑音、混線）などが考えられます。	［確認］を押し、送信し直してください。何回も続けてエラーになるときはサービス実施店に連絡してください。
遠隔システム作動中です。しばらくお待ちください。注意：主電源は切らないでください。	お客様のご要望により、サービス実施店から遠隔システムを使った宛先登録を実行しています。	メッセージが消えるまで主電源スイッチを「Stand by」にしないでください。
原稿サイズがわかりません。 読み取りサイズを選択してください。	セットされている原稿のサイズを自動的に読み取ることができませんでした。	「読み取り条件」で「読み取りサイズ」を設定してから、送信する原稿をセットし直してください。設定項目について詳しくは、『ファクス』「読み取り条件を設定する」を参照してください。
原稿を戻し確認した後、スタートキーを押してください。	メモリー送信中に原稿がつまったため、読み取りが中断されました。	［確認］を押し、送信し直してください。何回も続けてエラーになるときはサービス実施店に連絡してください。
白紙に近いページがありました。中止する場合はストップキーを押してください。	原稿の最初のページが、白紙に近い原稿です。	原稿の裏面をセットしていることがあります。白紙原稿の検知についての詳細は、『ファクス』「白紙原稿を検知する」を参照してください。
白紙に近いページがありました。	原稿の最初のページが、白紙に近い原稿です。	原稿の裏面をセットしていることがあります。白紙原稿の検知についての詳細は、『ファクス』「白紙原稿を検知する」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
検索結果が表示可能な件数を超えました。 一度に表示できる検索結果は n 件までです。 （n には数字が入ります。）	検索結果が表示可能な件数を超えています。	検索条件を変えてから、再度検索してください。
指定時間内に検索できませんでした。 LDAP サーバーの動作状況や接続を確認してください。	LDAP サーバーへの接続時にネットワーク上のエラーが発生しました。	もう一度接続し直しても同じメッセージが表示されるときは、ネットワークの混雑が原因として考えられます。 または「システム初期設定」で LDAP サーバーの設定情報を確認してください。設定情報について詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「LDAP サーバーを設定する」を参照してください。
選択された文書にアクセス権のない文書が含まれていました。アクセス権のある文書のみ消去されます。	削除する権限のない文書を削除しようとしました。	蓄積文書のアクセス権の確認や削除する権限のない文書を削除するときは、『セキュリティーガイド』を参照してください。
他の機能で原稿読み取り中です。下記の機能に切り替え、読み取りを中止する場合はストップキー、継続する場合はスタート キーを押してください。	本機が、ドキュメントボックスなどのファクス以外の機能で使用されています。	ほかの機能を終了させてから送信し直してください。たとえば、[確認] を押したあと、[ホーム] キーを押します。ホーム画面上の [ドキュメントボックス] アイコンを押して、画面を表示させます。[ストップ] キーを押し、「ストップキーが押されたため、スキャナーの読み取りと停止可能な印刷ジョブを停止しました。読み取りと印刷を継続する場合は [継続]、読み取りを中止する場合は [読み取り中止] を押してください。停止した印刷ジョブを削除する場合は [ジョブ一覧] を押してください。」と表示されたら [読み取り中止] を押してください。
この機能を利用する権限はありません。	ログインしたユーザーにその機能を使用する権限が設定されていません。	権限の設定方法については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

3

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ネットワークに問題がないか確認してください。[13-10]	指定したエイリアス電話番号は、ほかの通信端末によって、すでにゲートキー パーに登録されています。	• 「ファクス初期設定」で H.323 設定のエイリアス電話番号が正しく登録されているか確認してください。設定については、『ファクス』「導入設定」を参照してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。[13-11]	ゲートキーパーにアクセスできません。	• 「ファクス初期設定」で H.323 設定のゲートキーパーアドレスが正しく登録されているか確認してください。設定については、『ファクス』「導入設定」を参照してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。[13-17]	SIP サーバーがユーザー名登録を拒否しました。	• 「ファクス初期設定」で SIP 設定の SIP サーバー IP アドレス、SIP ユーザー名が正しく登録されているか確認してください。設定については、『ファクス』「導入設定」を参照してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。[13-18]	SIP サーバーにアクセスできません。	• 「ファクス初期設定」で SIP 設定の SIP サーバー IP アドレスが正しく登録されているか確認してください。設定については、『ファクス』「導入設定」を参照してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。[13-24]	SIP サーバーに登録した認証用パスワードと、本機に登録したパスワードが一致していません。	ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ネットワークに問題がないか確認してください。[13-25]	IPv4 が有効プロトコルの設定で有効になっていないか、または本機の IP アドレスが正しく登録されていません。	• 「システム初期設定」で有効プロトコルが「有効」に設定されているか確認してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」を参照してください。 • 「システム初期設定」で本体 IPv4 アドレスが正しくセットされているか確認してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」を参照してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。[13-26]	有効プロトコルの設定と SIP サーバー IP アドレスの設定が一致していないか、または本機の IP アドレスが正しく登録されていません。	• 「システム初期設定」で IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」を参照してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。[13-28]	簡易設定情報の取得をするときに SIP ユーザー名を取得できませんでした。ホームゲートウェイを使用中の SIP ユーザー数が上限に達しているときに本機の情報をホームゲートウェイに登録しようとしました。	利用していない SIP ユーザー名があれば、削除してください。SIP ユーザー名の削除方法は、ホームゲートウェイのマニュアルを参照してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。[13-29]	簡易設定のときにホームゲートウェイとの接続に失敗しました。または、ホームゲートウェイの IP アドレスが正しく設定されていません。	「ファクス初期設定」で「SIP 設定」の「NGN 接続設定」の「ホームゲートウェイアドレス」が正しく設定されているか確認してください。SIP 設定については、『ファクス』「導入設定」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ネットワークに問題がないか確認してください。 [14-01]	DNS サーバー、SMTP サーバー、転送先のフォルダーが見つからないか、または SMTP サーバーを経由しないで送信しようとしたとき、送信先が見つかりません。	• 「システム初期設定」で次の設定が正しく登録されているか確認してください。 　• DNS サーバー 　• SMTP サーバーのサーバー名および IP アドレス 設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」、「ファイル転送設定」を参照してください。 • 転送先のフォルダー指定が正しく設定されているか確認してください。 • 転送先フォルダーのパソコンが正常に動作しているか確認してください。 • LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • 送信先のネットワーク接続については、送信先の管理者に確認してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。 [14-09]	SMTP 認証、POP before SMTP または転送先フォルダーのパソコンへのログイン認証ができません。	• 「システム初期設定」で SMTP 認証、POP before SMTP、またはメールアカウントのユーザー名とパスワードが正しく登録されているか確認してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「ファイル転送設定」を参照してください。 • 転送先フォルダーのパソコンへのログイン用ユーザー ID とパスワードが正しく設定されているか確認してください。 • 転送先のフォルダー指定が正しく設定されているか確認してください。 • 転送先フォルダーのパソコンが正常に動作しているか確認してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ネットワークに問題がないか確認してください。[14-33]	メールアカウントのメールアドレスおよび管理者メールアドレスが未登録です。	•「システム初期設定」でメールアカウントのメールアドレスが正しく登録されているか確認してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「ファイル転送設定」を参照してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。[15-01]	POP3（IMAP4）サーバーのアドレスが未登録です。	•「システム初期設定」で POP3（IMAP4）サーバーのサーバー名または IP アドレスが正しく登録されているか確認してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「ファイル転送設定」を参照してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。[15-02]	POP3（IMAP4）サーバーにログインできません。	•「システム初期設定」でメールアカウントのユーザー名、パスワードが正しく登録されているか確認してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「ファイル転送設定」を参照してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。[15-03]	メールアカウントのメールアドレスが未登録です。	•「システム初期設定」でメールアカウントのメールアドレスが正しく登録されているか確認してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「ファイル転送設定」を参照してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。

3

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ネットワークに問題がないか確認してください。 [15-11]	DNS サーバーまたは POP3（IMAP4）サーバーが見つかりません。	• 「システム初期設定」で次の設定が正しく登録されているか確認してください。 　• DNS サーバーの IP アドレス 　• POP3(IMAP4)サーバーのサーバー名または IP アドレス 　• POP3(IMAP4)サーバーのポート番号 　• 受信プロトコル 設定項目については『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」、「ファイル転送設定」を参照してください。 • LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。 [15-12]	POP3（IMAP4）サーバーにログインできません。	• 「システム初期設定」で次の設定が正しく登録されているか確認してください。 　• メールアカウントのユーザー名とパスワード 　• POP before SMTP のアカウント名とパスワード 設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「ファイル転送設定」を参照してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
ネットワークに問題がないか確認してください。 [16-00]	• ファクス連携機能の接続先の IP アドレスが設定されていません。 • ネットワークが正しく接続されていません。	• 「システム初期設定」で接続先の機器の IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。接続先の機器の IP アドレスの設定については、管理者に確認してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
本体トレイから用紙を取り除いてください。	本体トレイに用紙がいっぱいになっています。	本体トレイの用紙を取り除いてください。 ほかのトレイがいっぱいのときはトレイの名称が変わります。表示された排紙トレイから用紙を取り除いてください。
ファクス機能にエラーが発生しました。データを初期化します。	ファクス機能が故障しています。	サービス実施店に連絡してください。このときに画面に表示された番号も知らせてください。その他の機能は通常どおり使用できます。
無効な宛先が含まれています。 有効な宛先のみ選択しますか？	グループにファクス宛先、メール宛先、フォルダー宛先が混在しています。	それぞれの送信画面で、表示された警告で、［選択］を押してください。
連携先機器との認証に失敗しました。連携先機器の認証設定を確認してください。	接続先の機器でユーザー認証に失敗しました。	ユーザー認証について詳しくは『セキュリティーガイド』を参照してください。
連携先機器との認証に失敗しました。連携先機器の認証設定を確認してください。	接続先の機器がユーザーコード認証で管理されています。	ファクス連携機能はユーザーコード認証に対応していません。ユーザーコード認証の設定を解除してください。
連携先機器との認証に失敗しました。連携先機器の認証設定を確認してください。	接続先の機器に外部課金オプションが接続されています。	ファクス連携機能を使用するときは外部課金オプションを装着しないでください。
連携先機器との認証に失敗しました。連携先機器の認証設定を確認してください。	接続先の機器で機能を使用する権限がありません。	権限の設定方法については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
連携先機器との接続に失敗しました。連携先機器の動作状況や接続を確認してください。	接続先の機器の主電源スイッチが「Stand by」になっています。	接続先の機器の主電源スイッチを「ON」にしてください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
連携先機器との接続に失敗しました。連携先機器の動作状況や接続を確認してください。	ファクス連携機能を使用したときにネットワーク上でエラーが発生しました。	• 接続先の機器がファクス連携機能に対応しているか確認してください。 • 接続先の機器が正常に動作しているか確認してください。 • LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 •「システム初期設定」で接続先の機器の IP アドレスまたはホスト名が正しく設定されているか確認してください。接続先の機器の IP アドレスまたはホスト名の設定については、管理者に確認してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
連携先機器との接続に失敗しました。連携先機器の動作状況や接続を確認してください。	ファクス連携機能で機器に接続中にタイムアウトが発生しました。	• LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • 接続先の機器が正常に動作しているか確認してください。 • ファクス連携機能での接続について詳しくは『ファクス』「他機のファクス機能を利用して送信・受信する（ファクス連携）」を参照してください。
連携先機器との接続に失敗しました。連携先機器の構成に問題があります。管理者にご確認ください。	ファクス連携の接続先設定、または接続先の機器の構成が正しくありません。	連携ファクス機能を使用して他機に接続するときの設定および機器構成については、管理者に確認してください。
ユーザーコード認証が有効になっているため、ファクス連携を使用できません。	ファクス連携機能はユーザーコード認証に対応していません。	ファクス連携機能にはユーザーコード認証を設定しないでください。
外部課金装置が接続されているため、ファクス連携を利用できません。	ファクス連携機能は外部課金オプションに対応していません。	ファクス連携機能を使用するときは外部課金オプションを装着しないでください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
転送エラーが発生しました。連携先機器の状態を確認してください。	転送中にネットワーク上でエラーが発生しました。	• 接続先の機器が正常に動作しているか確認してください。 • LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • 「システム初期設定」で接続先の機器の IP アドレスまたはホスト名が正しく設定されているか確認してください。接続先の機器の IP アドレスまたはホスト名の設定については、管理者に確認してください。 • ネットワークエラーについては、管理者に確認してください。
連携先機器のハードディスクが満杯です。	ファクス連携機能で原稿を読み取ったときにハードディスクがいっぱいになりました。	不要なファイルを削除してください。
指定された操作を実行できません。文書が使用中、または送信を完了しています。	操作側の機器から送信待機文書を確認しようとしたときに、すでに文書が送信完了していました。	ジョブの詳細を確認するときは、[送受信確認/印刷] を押してから [送信文書確認／中止] を押して確認してください。
証明書が有効期間外の宛先のため、選択できません。	ユーザー証明書（あて先証明書）が有効期間外です。	新しいユーザー証明書の導入が必要です。ユーザー証明書（あて先証明書）については『セキュリティーガイド』を参照してください。
証明書が有効期間外の宛先が含まれているため、指定したグループ宛先は、選択できません。	ユーザー証明書（あて先証明書）が有効期間外です。	新しいユーザー証明書の導入が必要です。ユーザー証明書（あて先証明書）については『セキュリティーガイド』を参照してください。
プログラムに有効期間外の宛先が含まれているため、宛先の呼び出しを行いません。	ユーザー証明書（あて先証明書）が有効期間外です。	新しいユーザー証明書の導入が必要です。ユーザー証明書（あて先証明書）については『セキュリティーガイド』を参照してください。
プログラムに登録されている送信結果メール通知宛先の証明書が有効期間外のため、送信結果メール通知宛先の呼び出しを行いません。	ユーザー証明書（あて先証明書）が有効期間外です。	新しいユーザー証明書の導入が必要です。ユーザー証明書（あて先証明書）については『セキュリティーガイド』を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
プログラムに登録されている送信結果メール通知宛先に、証明書が有効期間外の宛先が含まれているため、送信結果通知宛先の呼び出しを行いません。	ユーザー証明書(あて先証明書)が有効期間外です。	新しいユーザー証明書の導入が必要です。ユーザー証明書(あて先証明書)については『セキュリティーガイド』を参照してください。
指定されている宛先の証明書が有効期間外のため、送信結果メール通知を設定できません。	ユーザー証明書(あて先証明書)が有効期間外です。	新しいユーザー証明書の導入が必要です。ユーザー証明書(あて先証明書)については『セキュリティーガイド』を参照してください。
暗号化用の証明書が有効期間外のため、送信できません。	ユーザー証明書(あて先証明書)が有効期間外です。	新しいユーザー証明書の導入が必要です。ユーザー証明書(あて先証明書)については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書(S/MIME 署名用)が有効期間外のため、XXX できません。 (XXX は操作内容を示します。)	機器証明書(S/MIME 署名用)が有効期間外です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書(S/MIME 署名用)の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
プログラムに暗号化用の証明書が存在しない宛先が含まれています。	ユーザー証明書(あて先証明書)がありません。	ユーザー証明書(あて先証明書)については『セキュリティーガイド』を参照してください。
プログラムに登録されている送信結果メール通知宛先に、暗号化用の証明書が存在しません。	ユーザー証明書(あて先証明書)がありません。	ユーザー証明書(あて先証明書)については『セキュリティーガイド』を参照してください。
プログラムに登録されている送信結果メール通知宛先に、暗号化用の証明書が存在しない宛先が含まれています。	ユーザー証明書(あて先証明書)がありません。	ユーザー証明書(あて先証明書)については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書(S/MIME 署名用)が有効期間外のため、プログラムに登録されている XXX の呼び出しを行いません。 (XXX はメール宛先または送信結果メール通知宛先を示します。)	機器証明書(S/MIME 署名用)が有効期間外です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書(S/MIME 署名用)の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
機器証明書（S/MIME 署名用）に問題があるため、XXXできません。機器証明書を確認してください。 （XXX には操作内容が表示されます。）	機器証明書（S/MIME 署名用）がない、または不正な証明書です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書（S/MIME 署名用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書（S/MIME 署名用）に問題があるため、XXXの呼び出しを行いません。 （XXX はメール宛先または送信結果メール通知宛先を示します。）	機器証明書（S/MIME 署名用）がない、または不正な証明書です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書（S/MIME 署名用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書（S/MIME 署名用）に問題があるため、送信結果メール通知を設定できません。	機器証明書（S/MIME 署名用）がない、または不正な証明書です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書（S/MIME 署名用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書（デジタル署名 PDF 用）が有効期間外のため、プログラムに登録されているメール宛先の呼び出しを行いません。	機器証明書（デジタル署名 PDF 用）が有効期間外です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書（デジタル署名 PDF 用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書（デジタル署名 PDF 用）が有効期間外のため、XXX できません。 （XXX は操作内容を示します。）	機器証明書（デジタル署名 PDF 用）が有効期間外です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書（デジタル署名 PDF 用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書（デジタル署名 PDF 用）に問題があるため、XXX できません。機器証明書の設定を確認してください。 （XXX は操作内容を示します。）	機器証明書（デジタル署名 PDF 用）がない、または不正な証明書です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書（デジタル署名 PDF 用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書（デジタル署名 PDF 用）に問題があるため、プログラムに登録されているメール宛先の呼び出しを行いません。	機器証明書（デジタル署名 PDF 用）がない、または不正な証明書です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書（デジタル署名 PDF 用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。

補足

- 「ネットワークに問題がないか確認してください。」というメッセージが表示されているときは、ネットワークに正しく接続されていないか、または本機の設定が正しくありません。ネットワークに接続する必要がないときは、メッセージを表示させないよ

うにできます。この設定をすると［状態確認］キーの点灯も消えます。メッセージを表示させない設定について詳しくは、『ファクス』「パラメーター設定」を参照してください。ネットワークに接続するときは、ネットワークの接続状況を確認するため、必ず設定を「表示する」に戻してください。

- いずれかの給紙トレイに用紙がなくなると、「用紙がなくなりました。用紙を補給してください。」のメッセージが表示されます。給紙トレイに用紙を補給してください。ほかの給紙トレイに用紙があるときは、メッセージが表示されていても通常どおりの受信ができます。このメッセージを表示するかどうかは、「パラメーター設定」で設定できます。工場出荷時は「Off（しない）」に設定されています。パラメーター設定について詳しくは、『ファクス』「パラメーター設定」を参照してください。

思いどおりに送信・受信できないとき

送信・受信

状態	原因	対処方法と参照先
送信・受信ともにできない。	モジュラーコードが外れていることがあります。	モジュラーコードの接続を確認してください。モジュラーコードの正しい接続方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「電話回線および電話機との接続」を参照してださい。
送信・受信ともにできない。	ISDN 接続の TA（ターミナルアダプター）の設定が間違っています。	設定を確認してください。

3

送信

状態	原因	対処方法と参照先
白紙で送信される。	原稿をセットする面が間違っています。	原稿ガラスにセットするときは読み取る面を下に、自動原稿送り装置（ADF）にセットするときは読み取る面を上にします。
原稿にないものが送信または印刷される。	自動原稿送り装置（ADF）のガイド板、原稿ガラス、または読み取りガラスが汚れています。	自動原稿送り装置（ADF）のガイド板、原稿ガラス、または読み取りガラスを清掃してください。清掃については、『保守/仕様』「本機を清掃する」を参照してください。修正液やインクなどが完全に乾いた原稿をセットしてください。
受信できるが送信できない。	ISDN 接続の TA（ターミナルアダプター）の設定が間違っています。	設定を確認してください。
受信できるが送信できない。	地域や交換機によっては、ダイヤルトーンを検出できないことがあります。	「ファクス初期設定」で「パラメーター設定」の「回線 1～3 で発呼時にダイヤルトーンを検出してから送信するかどうか」を「検出しなくても送信する」に設定してください。パラメーター設定については、『ファクス』「パラメーター設定」を参照してください。
メールサイズオーバーで送信できない。	本機に設定してあるメールサイズの上限を超えた容量のインターネットファクスは送信できません。	「ファクス初期設定」で「送信メールサイズ制限」の設定を変更してください。 設定項目については、『ファクス』「送信設定」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
オンフックダイヤルまたはマニュアルダイヤルを使っているとき、「受信中」と表示されて送信できない。	本機は［スタート］キーを押したときに、原稿サイズを検知できないと、受信の動作をします。	［読み取り条件］の読み取りサイズを押して、原稿の読み取りサイズを指定して送信し直してください。 オンフックダイヤルまたはマニュアルダイヤルを使用することが多いときは、「パラメーター設定」の「手動受信やファクス情報サービスを利用するとき、［スタート］キーを押して、受信するかどうか」を「受信しない」に設定することをお勧めします。ただし、手動受信やファクス情報サービスを利用するとき［スタート］キーを押して受信することはできません。 パラメーター設定については、『ファクス』「パラメーター設定」を参照してください。
PC FAX ドライバーから送信できない。	ユーザーコード認証が設定されています。	ユーザーコードとして登録済みの 8 桁までのユーザーコードを入力してから送信してください。
PC FAX ドライバーから送信できない。	ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵が間違っています。	ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵を確認してください。 ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵については『セキュリティーガイド』を参照してください。
PC FAX ドライバーから送信できない。	セキュリティー強化機能で高度な暗号化が設定されています。	セキュリティー強化機能については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
以下の宛先にグループを指定したが、指定先に届かない。 F コード中継ボックスの受信局、メモリー転送の転送先、特定相手先メモリー転送の転送先、受信文書設定の通知先、送信結果メール通知の通知先、SMTP 受信したメールの配信	グループでまとめて指定できる件数の上限を超えています。	グループでまとめて指定できる件数は最大 500 件です。それ以上登録されていないか宛先表で確認してください。グループをさらに別のグループに登録したときと中継ボックスの 1 から 5 に指定するときは、指定時にエラー表示されませんが、送信されません。

受信

状態	原因	対処方法と参照先
代行受信ランプが点灯し、受信した文書が用紙に印刷されない。	用紙切れやトナー切れなどの原因で印刷できません。	• 用紙を補給してください。 • トナーは早めに補給してください。 代行受信については、『ファクス』「代行受信」を参照してください。
受信した文書が用紙に印刷されない。	「ファクス初期設定」で受信文書を蓄積するように設定しています。	Web Image Monitorから印刷するか、本機の「蓄積文書印刷」で印刷してください。蓄積文書の印刷について詳しくは、『ファクス』「蓄積受信文書を印刷する」、「Web Image Monitorからファクス蓄積受信文書を印刷する」を参照してください。
用紙切れランプが点灯し、受信した文書が用紙に印刷されない。	給紙トレイに用紙がありません。	用紙を補給してください。用紙の補給方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙をセットする」を参照してください。
送信できるが受信できない。	ISDN接続のTA（ターミナルアダプター）の設定が間違っています。	設定を確認してください。
［手動メール受信］を押しても、「現在、メール受信ができない状態です。」と表示されメールを受信できない。	要求時メール通知（管理者からの問い合わせメール）を受信中です。	受信が完了したら、もう一度［手動メール受信］を押してください。

印刷

状態	原因	対処方法と参照先
画像が斜めに印刷される。	給紙トレイのサイドフェンスが正しくセットされていません。	給紙トレイのサイドフェンスのセット方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙サイズを変更する」を参照してください。
画像が斜めに印刷される。	用紙が斜めに搬送されています。	用紙のセット方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙をセットする」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	セットされている用紙が多すぎます。	給紙トレイのサイドフェンス、または手差しトレイの用紙ガイド板の内側に表示されている上限表示の線を超えないように用紙をセットしてください。また、複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をぱらぱらとほぐしてからセットしてください。

状態	原因	対処方法と参照先
何度も用紙がつまる。	用紙に湿気が含まれています。	当社推奨の用紙を使用してください。また、適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。適切な用紙とその保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙が厚すぎるか、薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に折り目やシワがあります。	当社推奨の用紙を使用してください。また、適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。適切な用紙とその保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」、「用紙の保管」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙が密着しています。	用紙をぱらぱらとほぐしてからセットしてください。または 1 枚ずつ送ってください。
紙が重なって送られる。	用紙が密着しています。	用紙をぱらぱらとほぐしてからセットしてください。または 1 枚ずつ送ってください。
用紙にシワがよる。	一度印刷した用紙を使用しています。	当社推奨の用紙を使用してください。また、本機以外で一度コピーまたは印字された用紙は再使用しないでください。適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
用紙にシワがよる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
用紙にシワがよる。	用紙が薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
用紙の先端が折れる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
用紙の先端が折れる。	推奨以外の用紙を使用しています。	適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
受信紙の画像が部分的に抜ける。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
相手先の受信紙に黒スジが出る。	自動原稿送り装置（ADF）のガイド板、原稿ガラス、または読み取りガラスが汚れています。	自動原稿送り装置（ADF）のガイド板、原稿ガラス、または読み取りガラスを清掃してください。清掃については、『保守/仕様』「本機を清掃する」を参照してください。
相手先の受信紙の白い地肌部分が黒っぽく汚れる。原稿の裏面の画像が透ける。	読み取りの濃度が濃く設定されています。	濃度を薄くしてください。読み取り濃度を調整するときは、『ファクス』「濃度を調整する」を参照してください。
受信紙の画像がかすれている。	目の粗い用紙や表面が加工されている用紙、湿気を含んだ用紙を使用すると、かすれて印刷されることがあります。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
受信紙の画像がかすれている。	相手先の読み取り濃度が薄く設定されています。	読み取る濃度を高くしてもらうようにしてください。
受信紙の画像がかすれている。	相手先の用紙が薄すぎます。	厚い用紙で送信してもらうようにしてください。
受信紙の画像が水滴状に白抜けする、または汚れる。	用紙から発生した水蒸気が用紙に付着して画像が水滴状に白く抜けたり、トナーで汚れることがあります。	• 本機を低温にならない場所に設置してください。 • 適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
小サイズカセットを装着したトレイから印刷できない。	小サイズ紙用トレイを使用しないように設定しています。	［システム初期設定］の［小サイズ紙用トレイ設定］を変更してください。［小サイズ紙用トレイ設定］については『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
小サイズ紙が選択できない。	小サイズ紙用トレイを使用しないように設定しています。	[システム初期設定]の[小サイズ紙用トレイ設定]を変更してください。[小サイズ紙用トレイ設定]については『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。

その他

状態	原因	対処方法と参照先
メモリーに蓄積されている文書（メモリー送信／受信、封筒受信、代行受信、その他の待機文書など）が消去されている。	主電源スイッチが「Stand by」の状態が 1 時間以上続くと、メモリーに蓄積されている文書はすべて消去されます。	消去された文書があると、電源を「On」にしたとき自動的に「電源断レポート」が印刷され、消去された文書を確認できます。消去された文書がメモリー送信のときは相手先を確認して送信し直します。メモリー受信または代行受信、封筒受信のときは相手先に送信し直してもらいます。電源断レポートについて詳しくは、P. 60「電源を切る／切れたとき」を参照してください。
正しいパスワードを入力しても、親展ボックス・掲示板ボックス文書の印刷、蓄積文書の送信・印刷ができない。	間違ったパスワードを一定の回数入力したため、セキュリティー機能がはたらき文書がロックされています。	文書ロック解除については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
[宛先登録]、[直接入力]が表示されない。	セキュリティー強化機能で利用制限をしています。	セキュリティー強化機能については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
メモリー転送機能、F コード掲示板ボックスの[文書登録]、F コード中継および配信機能、SMTP 受信したメールの配信機能が使えない。	セキュリティー強化機能で利用制限をしています。	セキュリティー強化機能については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
同報送信で複数の宛先を選択したとき、複数回にわたって送信された。	S/MIME 認証が設定されている宛先には暗号化されたメールが、設定されていない宛先には通常のメールが送信されます。	• S/MIME 認証が設定された宛先と、設定されていない宛先が混在していないか確認してください。 • メールを暗号化するためにはアドレス帳にユーザー証明書の導入が必要です。S/MIME 認証については『セキュリティーガイド』を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
JPEG 形式のファイルをMail to Print 機能で印刷しようとしたが、印刷できない。	印刷できる JPEG ファイルのフォーマットは、JFIF だけです。	画像フォーマットを確認してください。なお、当社の複合機で作成したJPEG ファイルは、JFIF フォーマットを使用しているので印刷できます。 Mail to Print 機能については、『ファクス』「インターネットファクス/Mail to Print でメールを受信する」を参照してください。

ファクス使用中にメモリーがいっぱいになったとき

メッセージ	原因	対処方法と参照先
メモリーがいっぱいになりました。 これ以上の読み取りはできません。 読み取ったページのみ送信します。	メモリーがいっぱいになっています。	[確認] を押すと待機中の状態に戻り、蓄積できたページまでの送信を始めます。 通信結果レポートで送信されていないページを確認し、送信し直してください。

エラーレポートが印刷されたとき

エラーレポートは送信や受信が正常にできなかったときに印刷されます。

エラーレポートが印刷される原因として、本機のファクスか相手のファクスの不具合が考えられます。また、電話回線に雑音が入ったときなどもエラーレポートが印刷される原因となります。

重要

- **送信時にエラーになったときは、もう一度送信し直してください。**
- **受信時にエラーになったときは、相手先に送信し直しを依頼してください。**
- **操作をし直してもエラーになるときはサービス実施店に連絡してください。**

補足

- 相手先を表示するかどうか設定できます。設定については、『ファクス』「パラメーター設定」を参照してください。工場出荷時は「ON（表示する）」に設定されています。
- ユーザー名（送信者）を記載するかどうか設定できます。設定については、『ファクス』「パラメーター設定」を参照してください。工場出荷時は「ON（表示する）」に設定されています。

エラーレポート

1. **印刷日時**

   レポートを印刷した日付と時間が記載されます。

2. 交信モード

送信を表す「送」、受信を表す「受」の文字のあとに、通信モードがアルファベットや記号で記載されます。

3. 相手先

相手先に発信元名称（表示用）が登録してあるときはその発信元名称（表示用）が、発信元名称（表示用）がなく発信元ファクス番号が登録してあるときはその発信元ファクス番号が記載されます。発信元名称（表示用）も発信元ファクス番号もないときは、送信時は入力したファクス番号・インターネットファクス宛先・IP-ファクス宛先・宛先表の名称が記載されますが、受信時は何も記載されません。

4. ユーザー名

送信者名が記載されます。

5. 文書番号

文書の管理番号です。

6. 発信元名称（印字用）登録内容

発信元名称（印字用）に登録されている内容が記載されます。

7. 通信時間

送受信にかかった時間です。

8. 結果

常に「エラー」と記載されます。

9. 枚数

送受信した枚数です。

電源を切る／切れたとき

重要

- **電源断レポートが印刷されたときは、電源プラグを差し込み、主電源スイッチを約 24 時間「On」にしてください。もう一度停電したり電源プラグを抜いたとき、メモリーに蓄積されている内容を約 1 時間保持するために充電します。**

主電源スイッチを「Stand by」にしても、登録した宛先表などの内容は消えませんが、主電源スイッチが「Stand by」や停電時や電源プラグを抜いたまま約 1 時間経過すると、ファクスのメモリーに蓄積されている文書（メモリー送信／受信／封筒受信など）は消去されます。メモリーに蓄積されている文書が消去されると、次に主電源スイッチを「On」にしたとき、自動的に電源断レポートが印刷され、消去された文書を確認できます。

消去された文書がメモリー送信のときは相手先を確認して送信し直します。メモリー受信または代行受信のときは相手先に送信し直してもらいます。

電源断レポート

メモリーに蓄積されている文書が消去されると、次に主電源スイッチを「On」にしたとき、自動的に電源断レポートが印刷され、消去された文書を確認できます。

1. **印刷日時**

   レポートを印刷した日付と時間が記載されます。

2. **受付時刻**

   文書を受け付けた時刻、すなわちメモリーに蓄積した時刻です。

3. **文書番号**

   文書の管理番号です。

4. **送信（受信）条件**

   通信の種類、ユーザー名称などが記載されます。

5. 発信元名称（印字用）登録内容

発信元名称（印字用）に登録されている内容が記載されます。

6. 相手先

- ファクス宛先のとき

  メモリー送信のときは、テンキーで入力したファクス番号、または宛先表に登録されている名称が記載されます。

  代行受信のときは、相手先には何も記載されません。

  相手先に発信元名称（表示用）がなく発信元ファクス番号が登録されていればその発信元ファクス番号が記載されます。

  G4 ユニットを装着しているときは、回線の種類が「G3」「I-G3」「G4」のいずれかで記載されます。

  増設 G3 ユニットを装着しているときは、回線の種類が「G3-1」「G3-2」「G3-3」「G3（空き）」のいずれかで記載されます。

  F コード（SEP/SUB/PWD/SID）を登録しているときは、SEP/SUB/PWD/SID を印字します。

- インターネットファクス宛先のとき

  「Mail」のあとに、入力したメールアドレス、または宛先表に登録されている名称が記載されます。

- IP-ファクス宛先のとき

  「IP-FAX」のあとに、入力した IP-ファクス宛先、または宛先表に登録されている名称が記載されます。

- メール宛先のとき

  「Mail」のあとに、入力したメールアドレス、または宛先表に登録されている名称が記載されます。

- フォルダー宛先のとき

  「フォルダー」のあとに、宛先表に登録されている名称が記載されます。

7. 結果

送受信の結果が記載されます。

- OK

  全ページ正しく送受信できました。

- エラー

  正しく送受信できませんでした。

- 待機中

  ダイヤルするのを待っていた状態です。

補足

- 電源の切れていた時間などにより、回線種類、拡張宛先データ（F コード／サブアドレス／ UUI）に関する情報は記録されないことがあります。
- 相手先を表示するかどうか設定できます。設定方法は、『ファクス』「パラメーター設定」を参照してください。工場出荷時は「On（表示する）」に設定されています。

3

- ユーザー名称を表示するかどうか設定できます。設定方法は、『ファクス』「パラメーター設定」を参照してください。工場出荷時は「On（表示する）」に設定されています。

3

インターネットファクスでエラーになったとき

エラー通知メール（ERROR MAIL NOTIFICATION）

本機が受信したメールを正常に処理できないときにメールの送信元に送られます。また、管理者メールアドレスが登録されていると、そのアドレスにも cc 送信されます。

```
***** Mail INFOMATION (2011/10/8 14:00)*****************************************************

From: aoyama@aaa.abc.co.jp
Subject: From"0311119999" ("アオヤマシテン") (Fax Message NO.0019)
―――
This E-mail includes attached file(s) sent from "RNP6FB61A"(xxxxxxx)

Queries to: aoyama@aaa.abc.co.jp

    ********** Error Report (2011/10/8 14:00)******************************

Sender: aoyama@aaa.abc.co.jp


Error Type: Invalid File (Code Error)


Please Confirm


Thank You
```

CGM007

補足

- エラー通知メールを送信するかどうか設定できます。設定方法は、『ファクス』「パラメーター設定」を参照してください。工場出荷時は「送信する」に設定されています。
- エラー通知メールを送信できないときは、エラーレポート（メール）が本機から出力されます。
- SMTP 受信でメールを正常に受信できなかったときは、SMTP サーバーからのエラーメールが送信元に送られます。

エラーレポート（メール）

「エラー通知メール」（ERROR MAIL NOTIFICATION）が送信できなかったときに本機から出力されるレポートです。

P.1

＊ ＊ ＊ エラーレポート（メール） （2011年 10月 8日 14時00分 ） ＊ ＊ ＊

1）青山支店

2）aoyama office

文書番号 受付時刻	送 信 元
0177 14時00分	Mail ：aoyama@aaa. abc. co. jp

機器管理者様 メール受信がエラーしたことを送信元へ通知してください。

エラー理由：ファイルが不正です

CGM008

サーバーからのエラーメール

間違ったメールアドレスを指定したときなど、正常に送信されなかったときは、送信メールがサーバーからのエラーメールとともに送信元に返送されます。

```
Mail INFOMATION (2011/10/8 4:09)

From: "Mail Delivery Subsystem" <MAILER-DAEMON@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>
Subject: Returned mail: see transcript for details
―――
Return-Path: <MAILER-DAEMON@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>
Received: from localhost (local host)
      by mailsvr1.aaa.abc.co.jp (8.11.2/8.11.2) id h3HHpDi29033;
      Fri, 20 Aug 2011 02:51:13 +0900
Date: Fri, 20 Aug 2011 02:51:13 +0900
From: Mail Delivery Subsystem <MAILER-DAEMON@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>
Message-Id: <200408201355.h3HHpDi29033@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>
To: <xxxxxx@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>
MIME-Version: 1.0
Content-Type: multipart/report; report-type=delivery-status;
      boundary="h3HHpDi29033.1050601873/mailsrv1.aaa.abc.co.jp"
Subject: Returned mail: see transcript for details
Auto-Submitted: auto-generated (failure)
Status: 0
―――



The original message was received at Fri, 20 Aug 2011 02:51:13 +0900
from xxxxx.aaa.abc.co.jp [xxx.xxx.xxx.xxx]

  ――― The following addresses had permanent fatal errors ―――
<fax@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>
   (reason: 550 5.1.1 <fax@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>... User unknown)

  ――― Transcript of session follows ―――
...while taking to prelude. xxxxx.xx.xxxxx.co.jp.:
>>> RCPT To:<fax@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>
<<< 550 5.1.1 <fax@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>... User unknown
550 5.1.1 <fax@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>... User unknown

―――
Content-Type: message/delivery-status

Reporting:MTA: dns; mailsrv1.aaa.abc.co.jp
Received-From-MTA: DNS; xxxxx.aaa.abc.co.jp
Arrival-Date: Fri, 20 Aug 2011 02:51:13 +0900

Final-Recipient: RFC822; fax@aaa.abc.co.jp
Action: failed
Status: 5.1.1
Remote-MTA: DNS; prelude.aaa.abc.co.jp
Diagnostic-Code: SMTP; 550 5.1.1 <fax@aaa.abc.co.jp>... User unknown
Last-Attempt-Date: Fri, 20 Aug 2011 02:51:13 +0900

―――
Content-Type : message/rfc822


―――
Return-Path: <xxxxxx@mailsrv1.aaa.abc.co.jp>
Received: from RNP6FB61A (xxxxx.aaa.abc.co.jp [xxx.xxx.xxx.xxx])
      by mailsrv1.aaa.abc.co.jp (8.11.2/8.11.2) with SMTP id h3HHpDi290
31
      for <fax@aaa.abc.co.jp>; Fri, 20 Aug 2011 02:51:13 +0900
From: xxxxxx@mailsrv1.aaa.abc.co.jp
Subject: =?ISO-2022-JP?B?RnJvbSAiMDMzNzc30DExMSIoIhskQiVqJTMbKEltlikoRmF4lE1lc3Nh?=
      =?ISO-2022-JP?B?Z2UgTk8uMDA10Sk=?=
To: fax@aaa.abc.co.jp
Date: Fri, 20 Aug 2006 04:09:43 +0900
Message-Id: <2004082004094349.DCSML-F00059-S00003.0000746F861A@xxx.xxx.xxx.xxx>
MIME-Version: 1.0
Content-Type: multipart/mixed;
      boundary="DC_BOUND_PRE_<1050606583.00007746fb61a>"
```

CGM009

補足

- サーバーからのエラーメールに続いて送信した文書の 1 ページ目が印刷されます。

メールの送信がエラーになったとき

送信エラー通知メール

メール送信時にエラーが発生してメールが正常に送信されなかったとき、メールを送信しようとしたユーザーのメールアドレスに送られます。また、転送/配信機能で、メールが正常に転送および配信されなかったとき、配信、転送先のメールアドレスに送られます。

ユーザーがその他にメールアドレスを登録しているとき、また、管理者メールアドレスが登録されているときは、そのアドレスにも送られます。

Mail INFOMATION (2011/10/8 14:00)

From:" 0311119999" (" アオヤマシテン") aoyama@aaa. abc. co. jp
Subject: メール送信:エラー

このメールは『RNP6FB61A』 (xxxxxxxx) から送信されたものです。

問い合わせ先: aoyama@aaa.abc.co.jp

********** メール送信エラーレポート (2011. 10. 8 14:00) *******************************

送信者 : aoyama@aaa.abc.co.jp

モデル名称 : xxxxxxxx
本体名 : XXXXXX

メール送信時にエラーが発生したため、送信を中止しました。

管理者に連絡してください。

CJG029

補足

- 送信エラー通知メールが送信されないときは、本機から「メール送信エラーレポート」が出力されます。

メール送信エラーレポート

「送信エラー通知メール」が正常に送信できなかったときに本機から印刷されるレポートです。

P.1

＊ ＊ ＊ メール送信エラーレポート （２０１１年 １０月 ８日 １４時００分 ） ＊ ＊ ＊

1）青山支店

2）ａｏｙａｍａ ｏｆｆｉｃｅ

メール送信時にエラーが発生したため、送信を中止しました。

管理者にご連絡ください。

CJG028

4. プリンター機能がうまく使えないとき

プリンター機能がうまく使えないときの原因と対処方法を説明します。

USB 接続がうまくいかないとき

状態	原因	対処方法と参照先
本機が自動認識されない。	USB ケーブルの接続に問題があります。	USB ケーブルを抜き、本機の主電源スイッチを「Stand by」にしたあとに「On」にします。本機が起動したことを確認してから USB ケーブルを接続してください。
Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。	不正なデバイスとして認識していないか、確認してください。	Windows のデバイスマネージャで、不正なデバイスを削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の「！」または、黄色の「？」が表示されます。必要なデバイスを削除しないように注意してください。
USB ケーブルを挿しても本機が認識しない。	本機の電源が切れているときは、USB ケーブルを接続しても本機が認識しないことがあります。	[省エネ] キーを押してから USB ケーブルを抜き、もう一度 [省エネ] キーを押します。本機が起動したことを確認してから USB ケーブルを接続してください。

プリンター使用中にメッセージが表示されたとき

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

サービスコールのメッセージには、連絡先と機械番号が表示されるので、確認のうえ、サービス実施店に連絡してください。連絡先が空欄のときは、販売店に連絡してください。

状態表示メッセージ

メッセージ	状態
印刷できます	パソコンからデータを送って印刷できます。
印刷中です	印刷しています。
印刷データ待ち	印刷データの受信待ちです。データの受信が完了すると印刷が始まります。
オフライン	オフライン状態です。
おまちください	1 秒程度の短い間、このメッセージが表示されることがあります。 準備中、初期調整中、またはトナー補給中です。しばらくお待ちください。
ヘキサダンプモード	16 進法でデータを印刷できるモードです。 ヘキサダンプモードを解除するときは、[印刷取消] を押してください。
印刷取消中	印刷ジョブを取り消し中です。 「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。
設定変更中	設定変更中です。
一時停止中です	Ridoc IO Navi からの操作で印刷を一時停止しています。 印刷を再開するときは、Ridoc IO Navi の自分の［ジョブ一覧］から再開するか、Web Image Monitor から再開できます。Web Image Monitor から印刷を再開するときは、管理者に確認してください。
印刷停止中です	［ストップ］キーまたは［ジョブ操作］を押して印刷を停止しました。
@Remote 証明書の更新中です	@Remote 証明書の更新中です。しばらくお待ちください。

エラーコードが表示されないメッセージ

補足

- 主電源の切りかたは、『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」を参照し、正しい方法で操作してください。

操作部の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因	対処方法と参照先
Bluetooth インターフェースに接続できません。Bluetooth インターフェースを確認してください。	• Bluetooth オプションが起動後に装着されました。 • Bluetooth オプションが起動後に抜かれました。	主電源を切り、Bluetooth オプションが正しく装着されているか確認してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
無線カードが故障しています。サービスにご連絡ください。 (「無線カード」は、拡張無線 LAN ボード、または Bluetooth オプションを指しています。)	Bluetooth オプションに対してアクセスはできますが、エラーを検出しました。	主電源を切り、Bluetooth オプションが正しく装着されているか確認してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
宛先表を更新しています。しばらくお待ちください。すでに宛先／送信者名が選択されていた場合は、この表示が消えた後に選択しなおしてください。	Web Image Monitor を使って、ネットワーク上から宛先登録を実行しています。	メッセージが消えるまでお待ちください。また、メッセージが表示されている間は、主電源スイッチを「Stand by」にしないでください。なお、登録する宛先の数によっては、しばらく操作できないことがあります。
エラーが発生しました。	構文エラーなどが発生しています。	PDF ファイルが正しいかどうか確認してください。
この機能を利用する権限がないため、ジョブはキャンセルされました。	ログインしたユーザーにその機能を使用する権限が設定されていません。	権限の設定については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
この PDF ファイルを印刷する権限がありません。	印刷しようとしたユーザーには、この PDF ファイルを印刷する権限がありません。	PDF ファイルのセキュリティー設定を確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
指定した用紙サイズと用紙種類に合った給紙トレイがありません。トレイの設定を下記の用紙サイズと用紙種類に変更するか、強制印刷するトレイを選択して、[実行]キーを押してください。	プリンタードライバーの設定が間違っているか、またはプリンタードライバーで指定した用紙サイズ、用紙種類の用紙がトレイにありません。	• プリンタードライバーの設定を確認して、プリンタードライバーで指定した用紙サイズ、または用紙種類をトレイにセットしてください。用紙サイズの変更方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙サイズを変更する」を参照してください。 • トレイを選んで強制印刷をするか、[印刷取消] を押して印刷を中止してください。強制印刷および印刷の取り消し方法については、『プリンター』「用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき」を参照してください。
消耗品の自動発注に失敗しました。	消耗品の自動発注に失敗しました。	サービス実施店に連絡してください。
選択された文書にアクセス権のない文書が含まれていました。 アクセス権のある文書のみ消去されます。	削除する権限のない文書を削除しようとしました。	蓄積文書のアクセス権の確認や削除する権限のない文書を削除するときは、『セキュリティーガイド』を参照してください。
n に用紙がありません。トレイに用紙を補給してください。他のトレイから強制印刷する場合は、使用するトレイを選択して[実行]キーを押してください。(n にはトレイ名が入ります。)	• プリンタードライバーの設定が間違っている、またはプリンタードライバーで指定した用紙サイズの用紙がトレイにありません。 • 小サイズ紙用トレイを使用しないように設定しています。	• 指定した用紙サイズと同じサイズの用紙がセットされているトレイを指定してください。 • 小サイズ紙を印刷するときは、[システム初期設定] の [小サイズ紙用トレイ設定] を変更してください。[小サイズ紙用トレイ設定]については『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。
ファイルシステムがいっぱいです。	ファイルシステムの容量がいっぱいで、PDF ファイルを印刷できません。	本機に蓄積している不要な文書を削除してください。
ファイルシステムの取得に失敗しました。	ファイルシステムが取得できないため、PDF 受信、PDF ダイレクト印刷ができません。	主電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
本文を章区切り紙と同じトレイで指定しているため印刷できません。設定を確認してください。	本文と章区切り紙を同じトレイに設定しているため印刷できません。	ジョブリセットをしてください。本文は章区切り紙と異なるトレイを使用する設定にして印刷し直してください。

操作部の画面、およびレポートに表示されるメッセージ

メッセージ	原因	対処方法と参照先
HDD エラー	ハードディスクに異常が発生しています。	主電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
USB エラー	USB インターフェースに異常が発生しています。	主電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
イーサネットエラー	イーサネットインターフェースに異常が発生しています。	主電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
パラレルエラー	パラレルインターフェースに異常が発生しています。	主電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
プリンターフォントエラー	プリンターのフォントファイルが異常です。	サービス実施店に確認してください。
無線カードエラー (「無線カード」は、拡張無線 LAN ボード、または Bluetooth オプションを指しています。)	• Bluetooth オプションが起動後に装着されました。 • Bluetooth オプションが起動後に抜かれました。	主電源を切り、Bluetooth オプションが正しく装着されているか確認してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。
無線カードエラー (「無線カード」は、拡張無線 LAN ボード、または Bluetooth オプションを指しています。)	拡張無線 LAN ボードにアクセスはできますが、エラーを検出しました。	主電源を切り、拡張無線 LAN ボードを確認してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。

メディアプリントを使用中に操作部の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因	対処方法と参照先
選択ファイルのサイズが大きすぎます。	• 選択しているファイルのサイズが、1GB を超えています。 • 選択しているファイルのサイズの合計が、1GB を超えています。	選択しているファイルサイズの合計が 1GB を超えるとき、メディアプリント機能では印刷できません。 • 合計 1GB を超える複数のファイルを選択しているときは、個別に選択してください。 • 選択しているファイルのサイズが 1GB を超えるときは、メディアプリント機能以外の機能を使用して印刷してください。 異なる形式のファイルを一緒に選択することはできません。
選択されたファイルの合計サイズが、上限値を超えました。これ以上は選択できません。	• 選択しているファイルのサイズが、1GB を超えています。 • 選択しているファイルのサイズの合計が、1GB を超えています。	選択しているファイルサイズの合計が 1GB を超えるとき、メディアプリント機能では印刷できません。 • 合計 1GB を超える複数のファイルを選択しているときは、個別に選択してください。 • 選択しているファイルのサイズが 1GB を超えるときは、メディアプリント機能以外の機能を使用して印刷してください。 異なる形式のファイルを一緒に選択することはできません。
利用できないメディアのため、ファイルを表示できません。	認識できないメディアを使用しています。	メディアプリント機能で推奨するメディアについては、リコーホームページを参照してください。また、パスワード設定などのセキュリティー機能を有効にした USB メモリーは、正しく動作しないことがあります。

エラーコードが表示されるメッセージ

重要

- 「エラーコードが表示されるメッセージ」は、「プリンター初期設定」から「システム設定」の「エラー表示設定」を「すべて表示」に設定すると表示されます。

補足

- 主電源の切り方は、『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」を参照し、正しい方法で操作してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
84：イメージ処理用のワークエリアがありません。	イメージ処理用のワークエリアがありません。	「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。 または、送信データを減らしてください。
85：グラフィックスの環境が不当です。	指定されたグラフィックライブラリがありません。	データが正しいか確認してください。
86：制御コードのパラメーターが不適当です。	制御コードのパラメーターが不適当です。	正しいパラメーターを設定してください。
87：フリーサイズのためのメモリー領域がありません。	フリーサイズのためのメモリー領域がありません。	「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。 または、サイズの指定を小さくしてください。
89：メモリースイッチの内容が不良です。	［国別指定］の設定が正しくありません。または印刷条件の設定が最大値を超えています。	印刷条件を設定する方法については、『エミュレーション』「プリンターの設定」を参照してください。
90：外部メディア上に空き領域がありません。	RPDL または R55 で、ハードディスクの空き領域が少なくなりました。	登録されているフォントやフォームのうち不要なものを削除してください。
91：ジョブがキャンセルされました。	コマンド解析不可、不正コマンド検知などにより、オートジョブキャンセル機能が作動し、印刷が中止されました。	データが正しいか確認してください。
92：イメージ／オーバーレイのメモリー領域がありません。	イメージオーバーレイのためのメモリー領域が不足しています。	• プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
92：イメージ／オーバーレイのメモリー領域がありません。	メモリーがいっぱいになっています。	• プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、送信データを減らしてください。
93：外字／ダウンロードのためのメモリー領域がありません。	外字またはフォントなどを登録するメモリー領域が足りません。	「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。 または登録データを減らしてください。
94：ダウンロードデータに不良があります。	フォントのダウンロードデータに誤りがありました。	フォントセットダウンロードのパラメーターを修正してください。
95：指定されたフォントがフォントファイルにありません。	存在しない文字の印字要求がありました。	文字コードを正しく設定してください。
96：文字セットエラー	指定されたフォントを選択できません。	存在するフォントを選択するように、パラメーターを修正してください。
96：フォントをセレクトできません。	指定されたフォントを選択できません。	存在するフォントを選択するように、パラメーターを修正してください。
97：フォントをアロケーションするエリアがありません。	フォントを登録する領域がありません。	「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。 または送信データを減らしてください。
98：ハードディスクへのアクセスに失敗しました。	ハードディスクへのアクセスに失敗しました。	主電源を入れ直してください。メッセージが多発するときは、サービス実施店に確認してください。
99：データエラー	RTIFF のデータ処理中に致命的なエラーが発生しました。	対処方法は『エミュレーション』「RTIFF エミュレーション」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
99：ワーニング	RTIFF のデータ処理中にエラーが発生しました。	対処方法は『エミュレーション』「RTIFF エミュレーション」を参照してください。
9B：認証が不適合のためコマンドはキャンセルされました。	認証が不適合なユーザーが、プログラムの登録または給紙トレイの情報登録をしようとしました。	認証については『セキュリティーガイド』を参照してください。
A3：オーバーフロー	受信バッファがオーバーフローしました。	• 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。 • 「プリンター初期設定」で［受信バッファ］を多く設定してください。設定項目については、『プリンター』「インターフェース設定」を参照してください。 • 送信データを減らしてください。
A4：ソートオーバー	ソートできる枚数をオーバーしています。	印刷ページ数を減らしてください。
A6：ページフル	ページ印刷中にページ画像が破棄されました。	プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
A9：ページエラー	試し印刷／機密印刷／保留印刷／保存印刷／イメージオーバーレイのフォーム登録で、ページオーバーが発生しました。	本機に登録されている文書のうち不要なものを消去してください。 または印刷するページ数を減らしてください。
AA：文書数オーバーが発生しました。	試し印刷／機密印刷／保留印刷／保存印刷／イメージオーバーレイのフォーム登録で、文書数オーバーが発生しました。	本機に登録されている文書のうち不要なものを消去してください。
AB：HDD オーバーフローが発生しました。	試し印刷／機密印刷／保留印刷／保存印刷／イメージオーバーレイのフォーム登録で、ハードディスクのオーバーフローが発生しました。	本機に登録されている文書のうち不要なものを消去してください。 または試し印刷／機密印刷／保留印刷／保存印刷しようとしている文書のサイズを小さくしてください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
AC：HDD 領域がオーバーしました。	PostScript 3 で、フォームまたはフォント用のハードディスク領域がオーバーしました。	本機に登録されているフォームまたはフォントのうち不要なものを削除してください。
AD：蓄積エラー	ハードディスクの故障時に、試し印刷／機密印刷／保留印刷／保存印刷、またはドキュメントボックスへ蓄積しました。	サービス実施店に確認してください。
AF：登録数エラー	イメージオーバーレイのフォーム登録で登録数オーバーが発生しました。	登録されているイメージオーバーレイファイルを削除してください。
AG：ハードディスクフル	イメージオーバーレイのフォーム登録でハードディスクのオーバーフローが発生しました。	登録されているイメージオーバーレイファイルを削除するか、登録データサイズを小さくしてください。
AH：登録エラー	イメージオーバーレイのフォーム登録で登録済みのフォーム番号に登録しようとしました。	イメージオーバーレイのフォーム登録のときは、フォーム番号を変更するか登録済みのフォームを削除してから登録してください。
AI：指定された用紙サイズには対応していないため、ジョブはキャンセルされました。	給紙できない用紙サイズの印刷が指定されたため、オートジョブリセットが実行されました。	給紙可能な用紙サイズで印刷を行ってください。
AJ：指定された用紙種類には対応していないため、ジョブはキャンセルされました。	給紙できない用紙種類の印刷が指定されたためオートジョブリセットが実行されました。	給紙可能な用紙種類で印刷を行ってください。
AK：ページエラー(自動)	エラージョブ蓄積機能で通常印刷を保留文書として蓄積するときにページオーバーが発生しました。	印刷するページ数を減らしてください。 または、本機に登録されている文書のうち不要なものを削除してください。
AL：文書数エラー(自動)	エラージョブ蓄積機能で通常印刷を保留文書として蓄積するときに最大蓄積文書数オーバー、または保留文書（自動）の最大管理文書数オーバーが発生しました。	保留文書（自動）を削除してください。 または本機に登録されている文書のうち不要なものを削除してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
AM:ハードディスクフル(自動)	エラージョブ蓄積機能で通常印刷を保留文書として蓄積するときにハードディスクのオーバーフローが発生しました。	本機に登録されている文書のうち不要なものを削除してください。 または、一時蓄積文書、保存文書のサイズを小さくしてください。
B6：ユーザー情報の自動登録に失敗しました。	登録件数が満杯で、LDAP 認証、Windows 認証時に認証情報を機器のアドレス帳に自動登録できません。	ユーザー情報の自動登録については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
B7：認証されたユーザーの情報が、登録済みのユーザーと重複しています。	LDAP や統合サーバー認証で、異なるサーバーに別の ID で同じ名前が登録されていて、ドメイン（サーバー）の切り替えなどによって名前（アカウント名）の重複が発生しました。	ユーザーの認証については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
B8：サーバーからの応答がないため認証できませんでした。	LDAP 認証、Windows 認証の際にサーバーへの認証問い合わせでタイムアウトが発生しました。	認証問い合わせ先のサーバーの状態を確認してください。
B9：他の機能でアドレス帳を使用中のため認証できませんでした。	ほかの機能でアドレス帳を使用中の状態が続いており、認証問い合わせができません。	しばらくしてからもう一度操作をやり直してください。
BA：この機能を利用する権限がないため、ジョブはキャンセルされました。	ログインユーザー名またはログインパスワードが間違っています。	ログインユーザー名またはログインパスワードを確認してください。
BA：この機能を利用する権限がないため、ジョブはキャンセルされました。	機能を使用する権限が設定されていません。	権限の設定については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
BA：この機能を利用する権限がないため、ジョブはキャンセルされました。	プリンタードライバー側で認証が設定されていないか、または、設定が間違っています。	プリンタードライバーのプロパティを印刷時に認証情報を確認するように設定します。そのあとで、プリンタードライバーでユーザー認証のログインユーザー名、パスワードを正しく設定してください。 プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
BB：印刷利用量制限度数に達したため、ジョブはキャンセルされました。	ユーザーに許可された印刷枚数を超えたため、印刷が中止されました。	印刷利用量制限については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
BC：ソートエラー	ソートが解除されました。	主電源を入れ直してください。それでも同じエラーになるときは、サービス実施店に連絡してください。
BD：ステープルを解除しました。	ステープルが解除されました。	用紙の方向、用紙の枚数、印刷の向き、ステープルの位置指定を確認してください。設定内容によっては、思いどおりのステープル結果にならず、用紙が排出されてしまうことがあります。
BE：パンチを解除しました。	フィニッシャーのパンチ機能が解除されました。	用紙の方向、印刷の向き、パンチの位置指定を確認してください。設定内容によっては、思いどおりのパンチ結果にならず、用紙が排出されてしまうことがあります。
BF：両面印刷の指定を解除しました。	両面印刷が解除されました。	• 両面印刷可能なサイズの用紙を使用してください。両面印刷可能な用紙については、『保守/仕様』「本体仕様」を参照してください。 • 「システム初期設定」で使用するトレイの「両面印刷の対象」の設定を変更してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。
BJ：分類コードが間違っています。	分類コードが指定されていません。	プリンタードライバーで分類コードを指定してから印刷してください。
BJ：分類コードが間違っています。	分類コードに対応していないプリンタードライバーからの印刷はできません。	分類コードを任意に設定してください。分類コードの設定方法は、『プリンター』「分類コードを設定する」を参照してください。
BQ：圧縮データエラー	圧縮データが破損しています。	ホストと本機の間で正常に通信ができているか確認してください。 圧縮データ作成ツールが正常に動作完了しているか確認してください。
C1：コマンドエラー	無効なコマンドを受信しました。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
C2：パラメーター数エラー	パラメーターの数が不適当です。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
C3：パラメーター範囲エラー	パラメーターの範囲が不適当です。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
C6：ポジションエラー	印刷位置が不適当です。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
C7：ポリゴンサイズエラー	ポリゴンバッファが不足しています。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
C8：フォントキャッシュエラー	ダウンロード用バッファサイズが不足しています。	「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。 またはダウンロードするフォントサイズを減らしてください。
C9：パターンキャッシュエラー	ラスターに対するテクスチャーパターン用バッファサイズが不足しています。	「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。 またはサイズを小さくしてください。
CA：原稿サイズ判定エラー	原稿サイズ判定用バッファがオーバーフローし、後続データ中に、原稿サイズを越える領域の描画があります。	「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。 またはサイズを小さくしてください。
D0：応答エラー	応答コマンド実行中に、次の応答コマンドの実行要求がありました。	次のいずれかを行ってください。 • ESC.E コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
D1：コマンドエラー	無効なデバイスコントロールコマンドを受信しました。	次のいずれかを行ってください。 • ESC.E コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
D2：無効パラメーターエラー	デバイスコントロールコマンドのパラメーターの中に無効な 1 バイトを受信しました。	次のいずれかを行ってください。 • ESC.E コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
D3：パラメーター範囲エラー	デバイスコントロールコマンドのパラメーターが有効範囲を超えています。	次のいずれかを行ってください。 • ESC.E コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
D4：パラメーター数エラー	デバイスコントロールコマンドのパラメーター数が不適当です。	次のいずれかを行ってください。 • ESC.E コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
DC：フォントセレクトエラー	指定したフォントをセレクトできません。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
DD：フォントエラー	指定したフォントがフォントテーブルにありません。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
DE：パラメーター範囲エラー	文字サイズが不適当です。	次のいずれかを行ってください。 • OE、IN コマンドを実行する。 • 印刷条件リストを印刷する。
DF：ワークメモリーエラー	シェーディング実行のための領域が不足しています。	データの量を減らしてください。
EA：排紙先変更	排紙先の用紙サイズ制限のため、排紙先を変更しました。	正しい排紙先を指定してください。
L1：メモリー容量が限界のため、ドキュメントボックスへの蓄積ができませんでした。	ドキュメントボックスへの蓄積でハードディスクの容量オーバーが発生しました。	本機に登録されているドキュメントボックスの文書を消去するか、送信文書のサイズを小さくしてください。
L2：受信できる最大文書数を超えたため、受信ができませんでした。	ドキュメントボックスへの蓄積で文書数オーバーが発生しました。	本機に登録されているドキュメントボックスの文書を消去してください。
L3：受信できる最大ページ数を超えたため、受信ができませんでした。	ドキュメントボックスへの蓄積でページオーバーが発生しました。	本機に登録されているドキュメントボックスの文書を消去するか、送信文書のページ数を減らしてください。
L4：蓄積不可サイズであるため、ドキュメントボックスへの蓄積ができませんでした。	ドキュメントボックスへの蓄積で用紙サイズオーバーが発生しました。	送信文書の用紙サイズを蓄積可能なサイズに変更してください。送信文書が不定形サイズのときは、文書を蓄積できません。
L5：ドキュメントボックス機能が無効のため、蓄積ができませんでした。	ドキュメントボックス機能が無効（使用禁止）となっています。	ドキュメントボックス機能の使用については、管理者に確認してください。権限の設定方法については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
M1：文書管理用の文書を蓄積できないため、印刷を中止しました（メモリー容量限界）	キャプチャーデータの保存時に、ハードディスクのオーバーフローが発生しました。	登録されているドキュメントボックスの文書を削除してください。 または送信する文書のサイズを小さくしてください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
M2：文書管理用の文書を蓄積できないため、印刷中止しました（蓄積最大文書数超過）	キャプチャーデータの保存時に、文書数オーバーが起こりました。	登録されているドキュメントボックスの文書を削除してください。
M3：文書管理用の文書を蓄積できないため、印刷中止しました（最大ページ数超過）	キャプチャーデータの保存時に、ページ数オーバーが起こりました。	登録されているドキュメントボックスの文書を削除してください。 または送信文書のページ数を減らしてください。
P1：コマンドエラー	RPCS のコマンドエラーです。 印刷時の設定によっては、RPCS 以外のプリンタードライバーを使用しているときでも発生することがあります。	次のいずれかを確認してください。 • ホストとプリンターの間で正常に通信ができるか。 • 機種に合ったプリンタードライバーを使用しているか。 • プリンタードライバーが最新のバージョンか。リコーのホームページから最新バージョンを入手してください。
P2：メモリーエラー	メモリーの取得エラーです。	• プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 • 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。
P3：メモリーエラー	メモリーの取得エラーです。	主電源を入れ直してください。 それでも同じメッセージが表示されるときは、本体メモリーの交換が必要です。本体メモリーの交換については、サービス実施店に連絡してください。
P4：送信中止	プリンタードライバーから、データ送信中断コマンドを受信しました。	ホストが正しく動作しているか確認してください。
P5：受信中止	データの受信が中断しました。	データを再送してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
メモリーオーバー	メモリーの取得エラーです。	**PCL6 のとき** プリンタードライバーの[項目別設定]タブの「メニュー項目：」から［印刷品質］を選択します。「ベクター／ラスター：」の設定を［ラスター］に変更してください。
不正コピー抑止印刷の処理中にエラーが発生したため、印刷ジョブを取り消しました。	不正コピー抑止印刷の設定をして、ドキュメントボックスに蓄積しようとしました。	プリンタードライバーの「かんたん設定：」タブの「印刷方法：」で［ドキュメントボックス］以外の項目を選択する、または不正コピー抑止印刷の設定を解除してください。
不正コピー抑止印刷の処理中にエラーが発生したため、印刷ジョブを取り消しました。	「不正コピー抑止地紋の詳細」画面で「文字列の入力」が空欄になっています。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［効果］を選択します。「不正コピー抑止の種類：」の［詳細］をクリックして表示される「不正コピー抑止地紋の詳細」画面で「文字列の入力：」に文字列を設定してください。
不正コピー抑止印刷の処理中にエラーが発生したため、印刷ジョブを取り消しました。	不正コピー抑止印刷を指定したときに、解像度が600dpi より低く設定されています。	プリンタードライバーで、解像度を600dpi 以上に設定するか、不正コピー抑止印刷の設定を解除してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

メディアプリント機能を使用中に操作部の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因	対処方法と参照先
99：ワーニング	指定したデータが破損しているか、メディアプリント機能で対応していないファイル形式のため印刷できません。	データが正しいか確認してください。メディアプリント機能で対応しているファイル形式については、『プリンター』「外部メディアを接続して印刷する」を参照してください。

それでも印刷が開始されないときは、サービス実施店に連絡してください。

補足

- プリンター初期設定の［エラー表示設定］を［簡易表示］に設定したときは、表示されないメッセージがあります。
- 以下のメッセージは、エラー履歴を印刷したときや、操作画面でのエラー履歴表示にて確認できます：「91：ジョブがキャンセルされました」「92：ジョブリセットしました」

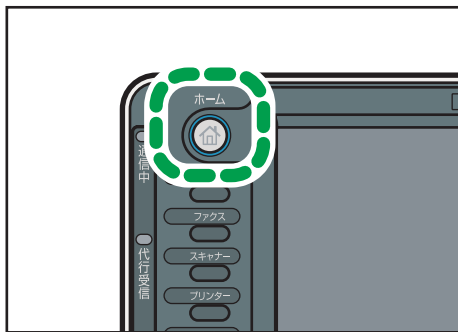
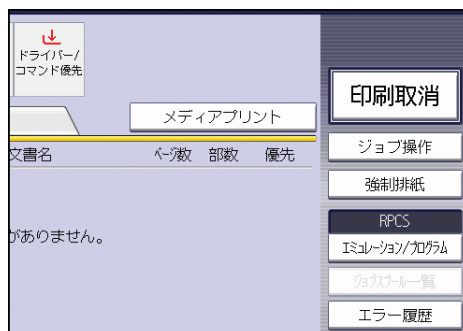
- エラーの内容は、システム設定リストや印刷条件一覧に印刷されることがあります。併せて確認してください。印刷方法は、『プリンター』「テスト印刷する」、『エミュレーション』「印刷条件リストを印刷する」を参照してください。

エラー履歴を確認する

エラーなどにより文書を印刷できなかったときは、エラー履歴が残り、操作部で確認できます。

★重要

- エラー履歴には最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし最も古い履歴が試し印刷、機密印刷、保留印刷、または保存印刷のときは消去されずに、同じ蓄積のエラー履歴として、30 件まで別に蓄積します。
- 簡単画面に切り替えているときは、[エラー履歴] が選択できません。
- 主電源スイッチを「Stand by」にすると、それまでの履歴は消去されます。

1. [ホーム] キーを押して、[プリンター] アイコンを押してプリンター画面に切り替えます。

2. [エラー履歴] を押します。

3. 確認するエラー履歴を選択して、[詳細表示] を押します。

印刷が始まらないとき

状態	原因	対処方法と参照先
印刷が始まらない。	電源が入っていません。	電源の入れかたについては、『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。
印刷が始まらない。	操作部の画面に原因が表示されます。	表示されているメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。対処方法は、P.70「プリンター使用中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。
印刷が始まらない。	インターフェースケーブルが正しく接続されていません。	インターフェースケーブルの正しい接続については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェースを接続する」を参照してください。
印刷が始まらない。	適切なインターフェースケーブルを使用していません。	使用するインターフェースケーブルはパソコンの種類によって異なります。適切なインターフェースケーブルについては、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェースを接続する」を参照してください。 また、断線が考えられるときは、ほかのケーブルと交換してみてください。
印刷が始まらない。	本機の主電源を入れてからインターフェースケーブルを接続しました。	インターフェースケーブルを接続してから、本機の主電源を入れてください。
印刷が始まらない。	無線 LAN を使用しているときは、電波状態によっては印刷できません。	「システム初期設定」で無線 LAN の電波状態を確認してください。電波状態が悪いときは、電波の通る場所へ移動するか、障害物を取り除いてください。 電波状態を確認できるのは、インフラストラクチャーモードのときだけです。システム初期設定の項目については『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
印刷が始まらない。	無線LAN（IEEE 802.11b/g）を使用するときは、電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を使用する産業、科学、医療用機器が近くにあるときに、電波が干渉することがあります。	電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を使用する産業、科学、医療用機器の電源を切ってから、印刷できるか確認してください。印刷できるときは、機器を移動してください。
印刷が始まらない。	無線LANを使用しているときは、SSIDの設定が間違っています。	接続先とのSSIDが正しく設定されていることを、本機の操作部で確認してください。SSIDの設定については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」を参照してください。
印刷が始まらない。	無線LANを使用しているときは、アクセスポイントによってはMACアドレスなどで通信相手を制限していることがあります。	インフラストラクチャーモードのときは、アクセスポイントの設定を確認してください。アクセスポイントによってはMACアドレスなどで通信相手を制限しているときがあります。 また、無線クライアントとアクセスポイント間、アクセスポイントと有線クライアント間の通信に問題がないか確認してください。
印刷が始まらない。	Bluetoothオプションを使用しているときは、電波状態によっては印刷できません。	次のいずれかを実行してください。 • パソコンと本機の間に障害物があるときは取り除きます。 • パソコンを移動します。 • 本機を移動します。
印刷が始まらない。	Bluetoothオプションが正しく取り付けられていません。	• Bluetoothオプションが正しく取り付けられているか確認します。 • システム設定リストを出力して、Bluetoothが認識されていることを確認してください。システム設定リストの印刷方法については、『プリンター』「テスト印刷」を参照してください。
印刷が始まらない。	ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵が間違っています。	ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵を確認してください。 ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
印刷が始まらない。	セキュリティー強化機能で高度な暗号化が設定されています。	セキュリティー強化機能について、『セキュリティーガイド』を参照してください。
無線 LAN をアドホックモードで使用していて、印刷が始まらない。	通信モードが正しく設定されていません。	• 主電源を入れ直してください。電源の入れかた、切りかたについては、『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。 • 「システム初期設定」で［通信モード］を［802.11 アドホックモード］に、また、［セキュリティー方式選択］を［しない］に設定してください。設定項目について詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」を参照してください。

それでも印刷が始まらないときは、サービス実施店に確認してください。

データインランプが点灯、点滅しないとき

印刷を実行してもデータインランプが点灯、点滅しないときは、データが本機に正しく届いていません。

パソコンとケーブルで直接接続しているとき

データインランプが点灯・点滅しないときの、印刷ポートの確認方法です。

印刷ポートが正しく設定されているか確認してください。パラレル接続で使用するときは、LPT1 または LPT2 に接続してください。

1. スタートボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。
2. ［ハードウェアとサウンド］をクリックします。
3. ［デバイスとプリンター］をクリックします。
4. 該当するプリンターのアイコンを右クリックしてショートカットメニューを表示させ、［プリンターのプロパティ］をクリックします。
5. ［ポート］タブをクリックします。
6. ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。

パソコンとネットワークで接続しているとき

ネットワークの接続については、管理者に確認してください。

思いどおりに印刷できないとき

きれいに印刷できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
全体がかすれる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
全体がかすれる。	適切な用紙がセットされていません。	当社推奨の用紙を使用してください。目の粗い用紙や表面が加工されている用紙に印刷するとかすれて印刷されることがあります。適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
全体がかすれる。	プリンタードライバーでトナーセーブをするように設定されています。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択して、「トナーセーブ：」の設定を「しない」に変更してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
指でこすると画像がかすれる。（トナーが定着していない）	厚紙などを使用しているときに、用紙種類の設定があっていないことがあります。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［用紙］から、［用紙種類：］を変更してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。本体の用紙種類の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。
画面どおりに印刷されない。	本機側のグラフィック処理を使用して印刷されます。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブの「メニュー項目：」から［印刷品質］を選択します。「ベクター／ラスター：」の設定を［ラスター］に変更してください。
画面どおりに印刷されない。	変倍や集約を行うと、行の最後の文字が次の行に送られるなど、画面上とレイアウトが異なることがあります。	アプリケーション側でレイアウトや文字の大きさの設定を変更してください。

状態	原因	対処方法と参照先
意味不明の文字、または英数字が連続して印刷される。	エミュレーションが正しく選択されていないことがあります。	正しいエミュレーションを設定してください。エミュレーションの設定方法は、『プリンター』「印刷終了後にプリンターのエミュレーションをもとに戻す」を参照してください。
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される。	アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷していることがあります。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［基本］を選択します。用紙設定のサイズを確認して、アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙に設定してください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使って縮小して印刷してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
ページレイアウトがずれる。	プリンターによって印刷領域が異なることがあるため、ほかのプリンターで印刷すると1ページに入っていた文書が本機で印刷すると1ページに入らないことがあります。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［編集］を選択し、［印刷領域：］の設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
写真が粗く印刷される。	アプリケーションによっては、解像度を下げて印刷するものがあります。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択し、「画像設定：」を［写真（イメージデータ）］に設定、または解像度を高く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
実線が破線、もしくはかすれたように印刷される。	ディザパターンが合っていません。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択し、ディザリング設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
細線がギザギザに印刷されたり印刷されない。または、太さにばらつきが生じる。	アプリケーションで極細線が指定されています。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択し、ディザリング設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 ディザリングの設定を変更しても改善されないときは、アプリケーションで線の太さを変更してください。
部分的に写らない箇所がある。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。

給紙がうまくいかないとき

状態	原因	対処方法と参照先
思ったトレイとは異なるトレイから給紙される。	Windows からの印刷時は操作部で給紙トレイを選択しても、プリンタードライバーの設定が優先します。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［用紙］を選択し、「給紙トレイ：」の設定を変更してください。 プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
画像が斜めに印刷される。	給紙トレイのサイドフェンスが正しくセットされていません。	サイドフェンスが正しくセットされているか確認してください。給紙トレイのセット方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙サイズを変更する」を参照してください。
画像が斜めに印刷される。	用紙が斜めに搬送されています。	用紙のセット方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙をセットする」を参照してください。
小サイズカセットを装着したトレイから給紙できない。	小サイズ紙用トレイを使用しないように設定しています。	［システム初期設定］の［小サイズ紙用トレイ設定］を変更してください。 ［小サイズ紙用トレイ設定］については『ネットワークの接続/システム初期設定』「基本設定」を参照してください。

状態	原因	対処方法と参照先
水滴状に白抜けする、または汚れる。	用紙から発生した水蒸気が用紙に付着して画像が水滴状に白く抜けたり、トナーで汚れることがあります。	• 本機を低温にならない場所に設置してください。 • 適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	セットされている用紙が多すぎます。	給紙トレイのサイドフェンス、または手差しトレイの用紙ガイド板の内側に表示されている上限表示の線を超えないように用紙をセットしてください。また、複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をぱらぱらとほぐしてからセットしてください。
何度も用紙がつまる。	サイドフェンスがきつくセットされています。	サイドフェンスを軽く突き当て直してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙が厚すぎるか、薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙に折り目やシワがあります。	当社推奨の用紙を使用してください。また、適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。適切な用紙とその保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」、「用紙の保管」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	一度印刷した用紙を使用しています。	当社推奨の用紙を使用してください。また、本機以外で一度コピーまたは印字された用紙は再使用しないでください。適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
何度も用紙がつまる。	用紙が密着しています。	用紙をぱらぱらとほぐしてからセットしてください。または 1 枚ずつ送ってください。

4

状態	原因	対処方法と参照先
紙が重なって送られる。	用紙が密着しています。	用紙をぱらぱらとほぐしてからセットしてください。または 1 枚ずつ送ってください。
用紙にシワがよる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
用紙にシワがよる。	用紙が薄すぎます。	当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙は、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
用紙の先端が折れる。	用紙に湿気が含まれています。	適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法については、『用紙の仕様とセット方法』「用紙の保管」を参照してください。
用紙の先端が折れる。	推奨以外の用紙を使用しています。	適切な用紙については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
両面印刷ができない。	160g/m^2 を超える厚紙をセットしています。	印刷する用紙を変更してください。
両面印刷ができない。	使用しているトレイが「用紙設定」で両面印刷の対象外に設定されています。	「システム初期設定」で使用するトレイの「両面印刷の対象」の設定を変更してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。
両面印刷ができない。	両面印刷に対応していない用紙種類に設定されているときは、両面印刷できません。	「システム初期設定」で使用するトレイの「用紙種類設定」の設定を両面印刷に対応する用紙に変更してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。
OHP に白い帯がでる。	用紙から脱落した紙粉が OHP に付着しています。	OHP の裏面に付着した紙粉を乾いた布で拭きとってください。

その他のトラブルシューティング

状態	原因	対処方法と参照先
印刷の指示をしてから 1 枚目の印刷が始まるまで時間がかかる。	「スリープモード」になっていることがあります。	「スリープモード」になっていると、ウォームアップをするため、印刷を開始するまで時間がかかります。「スリープモード」は、「システム初期設定」の［スリープモード移行時間設定］で設定できます。
印刷に時間がかかる。	写真やグラフを多用したデータなど、データの種類によってはパソコンの処理に時間がかかることがあります。	データインランプが点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのまま少しお待ちください。 プリンタードライバーで次の設定をするとパソコンの負担が軽減することがあります。 • 速度を優先させるように印刷品質の設定を変更する。 • 解像度を一番低い値に設定する。 プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
縦と横が逆に印刷される。	セットした用紙方向とプリンタードライバーのオプションセットアップで設定した用紙方向が合っていません。	給紙トレイにセットした用紙の向きと、プリンタードライバーのプロパティから［オプション構成］タブの「給紙トレイ設定」で設定した用紙方向をそろえてください。
1 ページの途中で排紙され、1 ページのデータが 2 ページにまたがって印刷されてしまう。	「プリンター初期設定」の［自動排紙時間］の設定が短すぎます。	「プリンター初期設定」で［自動排紙時間］の設定を自動排紙しないように変更、または現在の設定より長い時間に変更してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定（EM）」を参照してください。
パソコンから印刷指示をしたが、印刷されない。	ユーザーコード管理を設定しています。	**PostScript3 以外のプリンタードライバーのとき** 管理者にユーザーコードを確認してください。 確認したユーザーコードをプリンタードライバーのプロパティで設定してください。 プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 **PostScript3 のとき** ［システム設定］の［優先エミュレーション/プログラム］を「PS3」に設定してください。

状態	原因	対処方法と参照先
接続されているオプションが認識されない。	双方向通信が働いていません。	プリンタードライバーのプロパティでオプションセットアップをしてください。 プリンタードライバーの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
集約印刷や製本印刷、用紙指定変倍が指定どおりにできない。	アプリケーションまたはプリンタードライバーの設定が間違っています。	プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［基本］を選択し、「原稿方向：」と「原稿サイズ：」が、アプリケーションと同じ設定か確認してください。 異なるサイズが設定されているときは、原稿サイズと方向を選択してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
印刷途中で異なるエミュレーションに切り替わってしまう。	「プリンター初期設定」でエミュレーション検知するように設定されているときは、［インターフェース切替時間］の設定が短すぎるとデータの途中で誤ったエミュレーションに切り替わってしまいます。	「プリンター初期設定」で「インターフェース切替時間」を長めに設定するか、「エミュレーション検知」を「しない」に設定してください。設定項目については、『プリンター』「インターフェース設定」、「システム設定」を参照してください。
PDF ダイレクト印刷が実行できない。PDF ファイルが印刷されない。	PDF ファイルにパスワードがかかっています。	パスワードが設定されている PDF ファイルを印刷するときは、PDF 設定メニュー、または Web Image Monitor で、PDF ファイルのパスワードを設定してください。 • PDF 設定メニューについては、『プリンター』「PDF 設定」を参照してください。 • Web Image Monitor についてはヘルプを参照してください。
PDF ダイレクト印刷が実行できない。PDF ファイルが印刷されない。	PDF ファイルのセキュリティーの設定で、印刷が許可されていない PDF ファイルは印刷できません。	PDF ファイルのセキュリティーの設定を変更してください。
PDF ダイレクト印刷が実行できない（PDF ファイルが印刷されない）。	高圧縮 PDF 形式の PDF ファイルを、PDF ダイレクト機能を搭載しているプリンター機器へ転送し、印刷することはできません。	アプリケーションを開いてドライバー経由で印刷してください。ファイル形式は通常の PDF を選択してください。

状態	原因	対処方法と参照先
PDF ダイレクト印刷を実行したが、文字が正しく表示されない。	フォントが埋め込まれていません。	印刷する PDF ファイルにフォントを埋め込んでから、印刷してください。
指定した印刷時刻を過ぎたが、印刷されていない。	「プリンター初期設定」で［主電源 Off 時の未処理文書］が［主電源 On で印刷しない］に設定されているときに、指定した印刷時刻に、主電源スイッチが「Stand by」になっていました。	「プリンター初期設定」で［主電源 Off 時の未処理文書］を［主電源 On で印刷する］に設定してください。設定項目については、『プリンター』「システム設定」を参照してください。
指定した印刷時刻を過ぎたが、印刷されていない。	本機またはパソコンの時刻設定が誤っています。	本機、またはパソコンの時刻設定を正しく設定してください。
無線 LAN や Bluetooth を使用した印刷が遅い。	送信するジョブが多すぎます。	送信するジョブを減らしてください。
無線 LAN や Bluetooth を使用した印刷が遅い。	• 通信障害が発生していることがあります。 • ほかの無線 LAN 機器やほかの Bluetooth 機器と干渉したとき、通信速度などに影響を及ぼすことがあります。 • 無線 LAN（IEEE 802.11b/g）や Bluetooth を使用するときは、電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を利用する産業、科学、医療用機器が近くにあるときに、電波が干渉することがあります。 • Bluetooth 接続のとき、送信速度はあまり速くありません。	• ほかの無線 LAN 機器やほかの Bluetooth 機器が動作していないか確認してください。 • 本機またはパソコンを移動してください。 • 電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を利用する産業、科学、医療用機器の電源を切ってから、印刷ができるか確認してください。印刷できるときは、機器を移動してください。

それでも思いどおりに印刷できないときは、サービス実施店に確認してください。

5. スキャナー機能がうまく使えないとき

スキャナー機能がうまく使えないときの原因と対処方法を説明します。

スキャナー使用中にメッセージが表示されたとき

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

操作部の画面にエラーメッセージが表示されたとき

重要

- ここで示されていないエラーメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。それでもメッセージが消えないときは、エラー内容とエラー番号（表示されているとき）をサービス実施店に連絡してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
PC からの読み取り指示を実行できませんでした。PC の設定を確認してください。	スキャンプロファイルが正しく設定されていないことがあります。	スキャンプロファイルの設定を確認してください。
LDAP サーバーとの接続に失敗しました。LDAP サーバーの動作状況や接続を確認してください。	LDAP サーバーへの接続時にネットワーク上のエラーが発生しました。	もう一度接続し直しても同じメッセージが表示されるときは、ネットワークの混雑が原因として考えられます。 または「システム初期設定」で LDAP サーバーの設定情報を確認してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「LDAP サーバーを設定する」を参照してください。
LDAP サーバーとの認証に失敗しました。設定内容を確認してください。	ユーザー名、パスワードが LDAP 認証で設定したものと異なっています。	LDAP 認証については『セキュリティーガイド』を参照してください。
SMTP 認証メールアドレスと管理者メールアドレスが不一致です。	SMTP 認証メールアドレスが管理者メールアドレスと一致していません。	SMTP 認証については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「ファイル転送設定」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
宛先表／機器設定が更新されました。すでに選択されている宛先および機能は解除されます。もう一度選択しなおしてください。	Web Image Monitor を使って、ネットワーク上から宛先登録を実行しています。	メッセージが消えるまでお待ちください。また、メッセージが表示されている間は、主電源スイッチを「Stand by」にしないでください。なお、登録する宛先の数によっては、しばらく操作できないことがあります。
宛先表の更新に失敗しました。 もう一度実行しますか？	ネットワーク上にエラーが発生しています。	• サーバー側の接続を確認してください。 • ウィルス対策ソフトや、OS のファイアウォール機能が動作していると、ネットワーク接続時に本機に接続できないことがあります。 ウィルス対策ソフトのときは、アプリケーションの設定で該当プログラムを除外リストに登録してください。使用しているウィルスソフトによって操作は異なります。除外リストの登録について詳しくはウィルスソフトのヘルプを参照してください。OS のファイアウォール機能のときは、本機で指定している IP アドレスをファイアウォールから除外するように設定してください。設定方法は OS のヘルプを参照してください。
一度に送信できる文書数を超えています。 選択している文書数を減らしてください。	送信できる文書数の上限を超えています。	送信する文書の数を減らしてから送信し直してください。
原稿サイズがわかりません。 読み取りサイズを選択してください。	サイズを読み取りにくい原稿がセットされています。	• 原稿を正しくセットし直してください。 • 読み取りサイズを指定してください。 • 原稿ガラスで読み取るときは、自動原稿送り装置（ADF）の開閉で原稿サイズが検知されます。30 度以上の角度で確実に開けてください。
現在の状態では PC と通信できません。管理者に確認してください。	WSD （Device）プロトコル、または WSD（Scanner）プロトコルが無効になっています。	WSD プロトコルの有効/無効設定については『セキュリティーガイド』を参照してください。

5

メッセージ	原因	対処方法と参照先
検索結果が表示可能な件数を超えました。 一度に表示できる検索結果はn件までです。 （nには数字が入ります。）	検索結果が表示可能な件数を超えています。	検索条件を変えてから、再度検索してください。
この機能を利用する権限はありません。	ログインしたユーザーにその機能を使用する権限が設定されていません。	権限の設定については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
最大送信待機文書数を超えました。 現在の文書が送信されるまで、しばらくおまちください。	最大送信待機文書数の上限に達しました。	メール送信、フォルダー送信、配信の送信待機文書が100文書あります。これ以上追加できませんので、文書が送信されるまでしばらくお待ちください。
指定時間内に検索できませんでした。 LDAPサーバーの動作状況や接続を確認してください。	LDAPサーバーへの接続時にネットワーク上のエラーが発生しました。	もう一度接続し直しても同じメッセージが表示されるときは、ネットワークの混雑が原因として考えられます。 または「システム初期設定」でLDAPサーバーの設定情報を確認してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「LDAPサーバーを設定する」を参照してください。
指定したパスは見つかりません。 設定内容を確認してください。	送信先のコンピューター名またはフォルダー名が間違っています。	送信先のコンピューター名またはフォルダー名が正しいかを確認してください。
指定したパスは見つかりません。 設定内容を確認してください。	ウィルスソフトや、OSのファイアウォール機能が動作しています。	ウィルス対策ソフトや、OSのファイアウォール機能が動作していると、ネットワーク接続時に本機に接続できないことがあります。 ウィルス対策ソフトのときは、アプリケーションの設定で該当プログラムを除外リストに登録してください。除外リストの登録について詳しくはウィルスソフトのヘルプを参照してください。 OSのファイアウォール機能のときは、本機で指定しているIPアドレスをファイアウォールから除外して設定してください。設定方法はOSのヘルプを参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
指定できるパスの最大文字数を超えました。	指定できるパスの最大文字数を超えています。	指定できるパスの文字数は 256 文字までです。パスの文字数を確認して、再度入力してください。
選択された文書にアクセス権のない文書が含まれていました。 アクセス権のある文書のみ消去されます。	削除する権限のない文書を削除しようとしました。	蓄積文書のアクセス権の確認や削除する権限のない文書を削除するときは、『セキュリティーガイド』を参照してください。
選択された文書に使用中のものが含まれていました。 使用中の文書は消去できませんでした。	送信状態が「待機中」となっている文書や、Ridoc Desk Navigator で文書情報を変更中の文書は消去できません。	送信中止を行い、「待機中」状態を解除するか Ridoc Desk Navigator での変更を終了してから消去してください。
選択されている文書は使用中です。 パスワードを変更できません。	送信状態が「待機中」となっている文書や、Ridoc Desk Navigator で文書情報を変更中の文書のパスワードは変更できません。	送信中止を行い、「待機中」状態を解除するか Ridoc Desk Navigator での変更を終了してからパスワードを変更してください。
選択されている文書は使用中です。 文書名を変更できません。	送信状態が「待機中」となっている文書や、Ridoc Desk Navigator で文書情報を変更中の文書の文書名は変更できません。	送信中止を行い、「待機中」状態を解除するか Ridoc Desk Navigator での変更を終了してから文書名を変更してください。
選択されている文書は使用中です。 ユーザー名を変更できません。	送信状態が「待機中」となっている文書や、Ridoc Desk Navigator で文書情報を変更中の文書のユーザー名は変更できません。	送信中止を行い、「待機中」状態を解除するか Ridoc Desk Navigator での変更を終了してからユーザー名を変更してください。
送信先への接続に失敗しました。 設定内容を確認してください。	送信先のコンピューター名またはフォルダー名が間違っています。	送信先のコンピューター名またはフォルダー名が正しいかを確認してください。
送信先との認証に失敗しました。 設定を確認してください。 [送信結果／中止]キーを押すと送信先を確認できます。	ユーザー名、パスワードが正しくありません。	• SMTP 認証のユーザー名とパスワードが正しいかを確認してください。 • 送信先フォルダーの ID、パスワードが正しいかを確認してください。 • 登録できるパスワードの文字数は 128 文字までです。128 文字以内で設定し直してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
送信できるメールサイズの上限に達したため、送信を中止しました。 [スキャナー初期設定]で送信できるメールサイズを確認してください。	1 ページあたりのファイルサイズが、スキャナー初期設定で設定したメールサイズの上限に達しました。	[スキャナー初期設定]で次のように設定を変更してください。 • [送信メールサイズ制限]のサイズを増やします。 • [メールサイズ制限オーバー時分割]を[する(ページごと)]、または[する(最大サイズ)]に変更します。 設定項目については、『スキャナー』「送信設定」を参照してください。
送信に失敗しました。 [送信結果／中止]キーを押すと送信先を確認できます。	送信時にネットワーク上のエラーが発生し、正しく送信できませんでした。	読み取ったデータは消去されたので、読み取り直してください。 読み取り直しても同じメッセージが表示されるときは、ネットワークの混雑か、WSD スキャナー送信ではネットワーク設定の変更中が原因として考えられるので、管理者に確認してください。 複数の文書を送信していたときは、「送信結果表示/送信中止」画面を表示させて送信されなかった文書を確認してください。「送信結果表示/送信中止」画面については、『本機のご利用にあたって』「「送信結果表示/送信中止」画面の見かた」を参照してください。
送信に失敗しました。 送信先のハードディスクに空き容量がありません。 [送信結果／中止]キーを押すと送信先を確認できます。	SMTP サーバー、FTP サーバー、あるいは送信先クライアントコンピューター側のハードディスクの容量が少ないため、送信できませんでした。	必要な空き容量を確保してください。
送信バッファが満杯のため、送信を中止しました。 しばらくしてから送信しなおしてください。	送信待機中の文書が多いため、送信を中止しました。	待機中の文書の送信が完了してから、送信し直してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
他の機能で原稿読み取り中です。下記の機能に切り替え、読み取りを中止する場合はストップキー、継続する場合はスタートキーを押してください。	本機が、コピーなどのスキャナー以外の機能で使用されています。	ほかの機能での操作を終えてから原稿を読み取ってください。たとえば、[確認] を押したあと、[ホーム] キーを押します。ホーム画面上で [コピー] アイコンを押して、コピーの画面を表示させます。[ストップ] キーを押し、「ストップキーが押されたため、コピージョブと停止可能な印刷ジョブを停止しました。コピーと印刷を継続する場合は[継続]、コピーを中止する場合は[コピー中止]を押してください。停止した印刷ジョブを削除する場合は [ジョブ一覧] を押してください。」と表示されたら、[コピー中止] を押してください。
蓄積中の文書が 1 文書あたりのページ数の限界に達しました。 読み取った分までを 1 つの文書として蓄積しますか？	蓄積中の文書が 1 文書あたりのページ数の限界に達しています。	読み取り済みの文書を蓄積するかどうか指定してください。読み取れなかったページは、別の文書としてもう一度読み取り直してください。文書の蓄積方法は、『スキャナー』「読み取った文書を蓄積/保存する」を参照してください。
蓄積できる最大文書数を超えました。 不要になった蓄積文書を消去してください。	蓄積できる最大文書数を超えています。	送信する文書の数を減らすか不要な蓄積文書を消去してください。蓄積できる文書数については、『スキャナー』「蓄積機能」を参照してください。
蓄積できる最大文書数を超えました。 文書管理用の文書が作成できないため、送信できません。	蓄積できる最大文書数を超えています。	送信する文書の数を減らすか、不要な蓄積文書を消去してください。蓄積できる文書数については、『スキャナー』「蓄積機能」を参照してください。
通信に失敗したため、読み取りを開始できませんでした。	クライアントコンピューターにスキャンプロファイルが設定されていません。	クライアントコンピューターでスキャンプロファイルを設定してください。設定方法は、『スキャナー』「読み取り設定を新規作成する」を参照してください。
通信に失敗したため、読み取りを開始できませんでした。	クライアントコンピューターのスキャンデータ受信時の設定が [何もしない] に設定されています。	クライアントコンピューターでスキャナーのプロパティを開き、[イベント] タブにある [起動] で、受信時の動作を設定してください。詳しくは OS のヘルプを参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ドキュメントボックス全体で一度に使用できる蓄積文書数を超えています。	ドキュメントボックス全体で一度に使用できる蓄積文書数を超えています。	ほかの機能を使って蓄積した文書を確認し、不要な蓄積文書を消去してください。文書を消去する方法は、『コピー/ドキュメントボックス』「ドキュメントボックス機能」を参照してください。
入力されたファイル名には使用できない文字が含まれています。 もう一度入力してください。 以下の半角文字が使用できます。"0～9", "A～Z", "a～z", ".-_"	ファイル名として使用できない文字が設定されています。	読み取り時に設定したファイル名を確認してください。ファイル名に使用できる文字については、『スキャナー』「ファイル名を設定する」を参照してください。
入力できる最大文字数を超えました。	入力できる最大文字数を超えています。	入力できる最大文字数について詳しくは、『スキャナー』「送信/蓄積/配信機能の各設定項目の値」を参照してください。
文書管理用の文書が1文書あたりのページ数の限界に達したため、送信できません。	文書管理用の文書が1文書あたりのページ数の限界に達しました。	1文書あたり管理できるページ数については、『スキャナー』「送信機能」を参照してください。
無効な宛先が含まれています。 有効な宛先のみ選択しますか？	グループにメール送信の宛先とフォルダー送信の宛先が混在しています。	メール送信の宛先を選択するときは、メール送信画面で警告が表示されたときに［選択］を選択してください。フォルダー送信の宛先を選択するときは、フォルダー送信画面で警告が表示されたときに［選択］を選択してください。
メディアがありません。メディアを挿入してください。	外部メディアがセットされていません。	外部メディアをセットしてください。また、メディアスロットに外部メディアが正しくセットされているか確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
メディアに書き込みできません。 メディアまたは機器の設定を確認してください。	外部メディアに異常が発生しているか、ファイル名として使用できない文字が設定されています。	• 外部メディアが破損していないか確認してください。 • セットした外部メディアが未フォーマット、あるいは対応していないフォーマットか確認してください。 • 読み取り時に設定したファイル名を確認してください。ファイル名に使用できる文字について細は、『スキャナー』「ファイル名を設定する」を参照してください。
メディアの空き容量が不足しているため書き込みできません。メディアを交換してください。	外部メディアの容量がいっぱいで、読み取ったデータを保存できません。 また、外部メディアの空き容量があっても、外部メディアに保存できるファイル数などの制限によっては保存できないことがあります。	• 外部メディアを交換してください。 • 文書分割、シングルページで読み込んだとき、外部メディアへの書き込みが完了したデータはそのまま保存されます。外部メディアを交換し、［再試行］を押して残りのデータ保存を再開するか、［中止］を押してスキャンし直してください。
メディアへの書き込みが禁止されているため書き込みできません。	外部メディアへの書き込みがロックされています。	セットした外部メディアの書き込みロック機能を解除してください。
メモリーの容量が限界に達しました。すでに読み取った文書を蓄積しますか？	蓄積時、本機のハードディスク容量が足りないため、途中のページまでしか読み取りできませんでした。	読み取り済みの文書を蓄積するかどうか選択してください。
メモリーの容量が限界に達しました。 読み取りを続行できません。 読み取り済みのデータを送信しますか？ 送信を中止すると、読み取ったデータは消去され、蓄積されません。	メール送信、フォルダー送信、または配信と蓄積を同時に行ったとき、本機のハードディスク容量が足りないため、途中のページまでしか読み取りできませんでした。	読み取り済みの文書を配信・蓄積するかどうか選択してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
メモリーの容量が限界に達しました。 読み取りを続行できません。 読み取り済みのデータをメディアに書き込みますか？ 書き込みを中止すると、読み取ったデータは消去されます。	外部メディア保存時、本機のハードディスク容量が足りないため、途中のページまでしか読み取りできませんでした。	読み取り済みの文書を外部メディアへ保存するかどうか選択してください。
読み取りページ数が限界に達しました。 読み取りを続行できません。 読み取り済みのデータをメディアに書き込みますか？ 書き込みを中止すると、読み取ったデータは消去されます。	外部メディア蓄積時、本機で読み取り可能なページ数の上限を超えたため、途中までしか読み取りできませんでした。	外部メディアに書き込む文書の数を減らしてから書き込み直してください。
メモリーの容量が限界に達しました。 読み取りを中止して、読み取り済みのデータを消去します。	本機のハードディスク容量が足りないため、1 ページ目を読み取りできませんでした。	• しばらく待ってから読み取り直してください。 • 解像度を下げて、読み取りデータを小さくしてください。読み取り条件については、『スキャナー』「読み取り条件の設定項目」を参照してください。 • 不要な蓄積文書を削除してください。削除方法は、『スキャナー』「蓄積した文書を消去する」を参照してください。
用紙がありません。次のいずれかのサイズの用紙をセットしてください。 A3、B4、A4、A4. . .	指定した給紙トレイに用紙がありません。	メッセージにしたがって、該当の用紙をセットしてください。用紙の補給方法は、『用紙の仕様とセット方法』「用紙をセットする」を参照してください。
読み取りデータが大きすぎます。 解像度を確認し、原稿を n 枚戻してください。 （n には数字が入ります。）	読み取った原稿が大きすぎます。	読み取りサイズと解像度を指定し直してください。大きなサイズの原稿を高解像度で読み取るとき、読み取りできないことがあります。読み取りの設定項目については、『スキャナー』「解像度と読み取りサイズの関係」を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
読み取りデータが大きすぎます。 解像度を確認し、再スタートしてください。	読み取ったデータが大きすぎます。	読み取りサイズと解像度を指定し直してください。大きなサイズの原稿を高解像度で読み取るとき、読み取りできないことがあります。読み取りの設定項目については、『スキャナー』「解像度と読み取りサイズの関係」を参照してください。
読み取りデータが大きすぎます。 解像度と変倍率を確認し、もう一度スタートキーを押してください。	サイズ指定変倍時に読み取ったデータが大きすぎます。	解像度もしくは、サイズ指定のサイズを小さくして、読み取りし直してください。
読み取りデータが小さすぎます。 解像度と変倍率を確認し、もう一度スタートキーを押してください。	サイズ指定変倍時に読み取ったデータが小さすぎます。	解像度もしくは、サイズ指定のサイズを大きくして、読み取りし直してください。
画像の一部を読み取りできません。	倍率指定の変倍率が大きすぎると、画像の一部が欠けることがあります。	倍率指定の変倍率を小さくして、読み取りし直してください。 画像の一部が表示されなくても構わないときは、そのまま［スタート］キーを押して、読み取りを開始してください。
画像の一部を読み取りできません。	大きい原稿をサイズ指定で小さいサイズに変倍したときに、画像の一部が欠けることがあります。	サイズ指定のサイズを大きくして、もう一度読み取りし直してください。 画像の一部が表示されなくても構わないときは、そのまま［スタート］キーを押して、読み取りを開始してください。
原稿の向きを確認してください。	変倍設定と原稿サイズ等の組み合わせによっては、原稿の読めない向きで読み取りができないことがあります。	原稿を正しい向きにセットしてください。
機器証明書（デジタル署名PDF 用）の有効期限が切れているため、送信できません。	機器証明書（デジタル署名PDF 用）が有効期間外です。	新しい機器証明書の導入が必要です。 機器証明書（デジタル署名 PDF 用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書（デジタル署名PDF 用）が有効期間外のため、XXX できません。 (XXX は操作内容を示します。)	機器証明書（デジタル署名PDF 用）が有効期間外です。	新しい機器証明書の導入が必要です。 機器証明書（デジタル署名 PDF 用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
機器証明書（デジタル署名PDF 用）が不正なため、送信できません。	機器証明書（デジタル署名PDF 用）がないか、あるいは不正な証明書です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書（デジタル署名 PDF 用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書（デジタル署名PDF 用）に問題があるため、XXX できません。機器証明書を確認してください。(XXX は操作内容を示します。)	機器証明書（デジタル署名PDF 用）がないか、あるいは不正な証明書です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書（デジタル署名 PDF 用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書（S/MIME 署名用）に問題があるため、XXX できません。機器証明書を確認してください。(XXX は操作内容を示します。)	機器証明書（S/MIME 署名用）がないか、あるいは不正な証明書です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書（S/MIME 署名用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書（S/MIME 署名用）が有効期間外のため、XXX できません。(XXX は操作内容を示します。)	機器証明書（S/MIME 署名用）がないか、あるいは不正な証明書です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書（S/MIME 署名用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
機器証明書（S/MIME 署名用）が有効期間外のため、送信できません。	機器証明書（S/MIME 署名用）が有効期間外です。	新しい機器証明書の導入が必要です。機器証明書（S/MIME 署名用）の導入については『セキュリティーガイド』を参照してください。
証明書が有効期間外の宛先のため、選択できません。	ユーザー証明書（あて先証明書）が有効期間外です。	新しいユーザー証明書の導入が必要です。ユーザー証明書（あて先証明書）については『セキュリティーガイド』を参照してください。
証明書が有効期間外の宛先が含まれているため、指定したグループ宛先は選択できません。	ユーザー証明書（あて先証明書）が有効期間外です。	新しいユーザー証明書の導入が必要です。ユーザー証明書（あて先証明書）については『セキュリティーガイド』を参照してください。
暗号化用の証明書が有効期間外のため、送信できません。	ユーザー証明書（あて先証明書）が有効期間外です。	新しいユーザー証明書の導入が必要です。ユーザー証明書（あて先証明書）については『セキュリティーガイド』を参照してください。

クライアントコンピューターにエラーメッセージが表示されたとき

重要

- ここで示されていないエラーメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。それでもメッセージが消えないときは、エラー内容とエラー番号（表示されているとき）をサービス実施店に連絡してください。
- 主電源の切りかたは、『本機のご利用にあたって』「電源の入れかた、切りかた」を参照し、正しい方法で操作してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
ADF で紙づまりが発生しました。	自動原稿送り装置（ADF）で紙づまりが発生しています。	• 紙づまりを起こした原稿を取り除いてください。紙づまりの取り除きかたについては、P.121「用紙や原稿がつまったとき」を参照してください。 • 紙づまりを起こしたときは、原稿を元に戻してください。 • 使用している原稿が本機で読み取り可能なものか確認してください。
Winsock のバージョンが不適切です。ver1.1 以上をお使いください。	Winsock のバージョンが不適切です。	クライアントコンピューターの OS を再インストールするか、OS の CD-ROM から Winsock をコピーしてください。
お手数ですがサービスにご連絡ください。	本機に、復帰不可能なエラーが発生しています。	サービス実施店に連絡してください。
同じ名称が存在します。登録されている名称を確認してください。	すでに使用されている名称で登録しようとしています。	別名で名称を登録してください。
原稿のサイズがわかりません。読み取りサイズを設定してください。	セットした原稿がずれています。	• 原稿を正しくセットし直してください。 • 読み取りサイズを設定してください。 • 原稿ガラスで読み取るときは、自動原稿送り装置（ADF）の開閉で原稿サイズが検知されます。30 度以上の角度で確実に開けてください。
これ以上読み取りエリアを登録できません。	登録できる読み取り領域の上限を超えています。	登録できる読み取り領域は 100 個までです。不要な読み取り領域を削除してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
これ以上読み取りモードを登録できません。	登録できる読み取りモードの上限を超えています。	登録できる読み取りモードは 100 個までです。不要な読み取りモードを削除してください。
指定された装置は、スキャナーが使用できません。	現在、TWAIN スキャナー機能が使用できません。	サービス実施店に連絡してください。
スキャナーが使用できません。スキャナーの接続状態を確認してください。	本機の主電源が「Stand by」になっています。	本機の主電源スイッチを「On」にしてください。
スキャナーが使用できません。スキャナーの接続状態を確認してください。	本機が正しくネットワークに接続されていません。	• 本機が正しくネットワークに接続されているか確認してください。 • クライアントコンピューターのパーソナルファイアウォール機能を解除してください。 • 本機のプロトコルの設定が SNMPv1/v2 になっていることを、telnet などから確認してください。telnet については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「telnet を使う」を参照してください。
スキャナーが使用できません。スキャナーの接続状態を確認してください。	ホスト名から本機の IP アドレスを取得できなかったため、ネットワーク通信できません。 本機で IPv6 だけを有効に設定しているときは、IPv6 アドレスを取得できないことがあります。	• Network 接続限定ツールで本機のホスト名が設定されているか確認してください。WIA ドライバーを使用しているときは［プロパティ］に表示される［Network 接続限定］タブを確認してください。 • Web Image Monitor から、「IPv6」の「LLMNR」を「有効」にしてください。 • Windows XP では、ホスト名から IPv6 アドレスを取得できません。Network 接続限定ツールで本機の IPv6 アドレスを設定してください。
スキャナーから応答がありません。	本機またはクライアントコンピューターが、正しくネットワークに接続されていません。	• 本機が正しくネットワークに接続されているか確認してください。 • クライアントコンピューターのパーソナルファイアウォール機能を解除してください。
スキャナーから応答がありません。	ネットワークが混み合っています。	しばらく待ってから接続し直してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
スキャナーでエラーが発生しました。	アプリケーションで指定した読み取り条件が、本機の設定範囲を超えています。	アプリケーションで指定した読み取り条件が、本機の設定範囲を超えていないか確認してください。
スキャナーで復旧不可能なエラーが発生しました。	本機に、復旧不可能なエラーが発生しています。	エラーメッセージとエラー番号をサービス実施店に連絡してください。
スキャナーに接続できません。ネットワークのアクセスマスクの設定を確認してください。	アクセスマスクが設定されています。	アクセスマスクの設定については、管理者に確認してください。
スキャナーの準備ができていません。スキャナー及びオプションを点検してください。	自動原稿送り装置（ADF）のカバーが開いています。	自動原稿送り装置（ADF）のカバーを閉じてください。
スキャナーのメモリーが足りません。読み取りエリアを小さくしてください。	スキャナーのメモリーが足りません。	• 読み取りサイズを設定し直してください。 • 解像度を下げてください。 • ［圧縮しない］に設定してください。設定方法については TWAIN ドライバーのヘルプを参照してください。 次のようなときもあります。 • ヘルプの「解像度と読み取り領域の関係」の表は、白黒 2 値（ハーフトーン）に設定したときは当てはまりません。ハーフトーンや高解像度で、明るさなどを大きな値に設定すると読み取れないことがあります。スキャナーの読み取り条件の関係については、『スキャナー』「解像度と読み取りサイズの関係」を参照してください。 • 印刷などをしていて本機が紙づまりになると、読み取れなくなることがあります。このときは、本機につまった用紙を取り除いてから読み取ってください。
前回使用していたスキャナー“XXX”が見つかりません。別のスキャナー“YYY”で起動します。 （XXX、YYY は任意のスキャナー名を示します。）	前回使用していたスキャナーの主電源が入っていません。	前回使用していたスキャナーの主電源が「On」になっているか確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
前回使用していたスキャナー“XXX”が見つかりません。別のスキャナー“YYY”で起動します。 (XXX、YYY は任意のスキャナー名を示します。)	ネットワークに正しく接続されていません。	• 前回使用していたスキャナーが正しくネットワークに接続されているか確認してください。 • クライアントコンピューターのパーソナルファイアーウォール機能を解除してください。 • 本機のプロトコルの設定が SNMPv1/v2 になっていることを、telnet などから確認してください。telnet については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「telnet を使う」を参照してください。 • 前回使用していたスキャナーを選択し直してください。
他の機能でスキャナーが使われています。しばらくお待ちください。	本機がコピーなどのスキャナー以外の機能で使用されています。	• しばらく待ってから接続し直してください。 • ほかの機能での操作を終了させてから蓄積してください。たとえば、[確認] を押したあと、[ホーム] キーを押します。ホーム画面上で [コピー] アイコンを押して、コピーの画面を表示させます。[ストップ] キーを押し、「ストップキーが押されたため、コピージョブと停止可能な印刷ジョブを停止しました。コピーと印刷を継続する場合は[継続]、コピーを中止する場合は[コピー中止]を押してください。停止した印刷ジョブを削除する場合は [ジョブ一覧] を押してください。」と表示されたら [コピー中止] を押してください。
ドライバー内部でエラーが発生しました。	ドライバー内部でエラーが発生しています。	• ネットワークケーブルがクライアントコンピューターに正しく接続されているか確認してください。 • クライアントコンピューターのイーサネットボードが Windows に正しく認識されているか確認してください。 • クライアントコンピューターが TCP/IP プロトコルを使用できる環境であることを確認してください。

5

メッセージ	原因	対処方法と参照先
認証に成功しましたが、スキャナ機能のアクセス権がありません。	ログインしたユーザーにスキャナー機能を使用する権限が設定されていません。	権限の設定については、『セキュリティーガイド』を参照してください。
ネットワーク上で通信エラーが発生しました。	ネットワークで通信エラーが発生しています。	コンピューターの通信プロトコル（TCP/IP）の設定が正しいか確認してください。
メモリーが不足しています。他のアプリケーションを終了してからやり直してください。	他のアプリケーションを使用しているためメモリーが不足しています。	• クライアントコンピューターで起動している不要なアプリケーションを終了させてください。 • TWAIN ドライバーをアンインストールし、コンピューターを再起動後に TWAIN ドライバーをインストールし直してください。
ユーザーコードが登録されていません。管理者に問い合わせてください。	ユーザーコードによってアクセスが制限されています。	ユーザーコードについて詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。
ログインユーザー名、ログインパスワード、ドライバー暗号鍵のいずれかが誤っています。	ログインユーザー名、ログインパスワード、ドライバー暗号鍵のいずれかが誤っています。	ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵を確認してください。ログインユーザー名、ログインパスワードおよびドライバー暗号鍵について詳しくは『セキュリティーガイド』を参照してください。

スキャンした文書が思いどおりに送信／配信できない

本機に蓄積した文書が使用できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
文書がロックされ、アクセスできない。	パスワードで保護された文書に誤ったパスワードを10回入力したため、文書がロックされています。	文書のロック状態を解除する方法については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

本機に蓄積した文書を編集できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
蓄積文書を消去できない、文書名・パスワードを変更できない、文書の再配信ができない。	セキュリティー強化機能で利用制限をしています。	セキュリティー強化機能について詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

文書の送信先フォルダーが選択できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
送信先フォルダーを選択する際に、ネットワーク参照ができない。	本機の以下の設定が正しく設定されていないことがあります。 • IP アドレス • サブネットマスク	設定内容を確認してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」を参照してください。

TWAIN スキャナー機能が使用できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
TWAIN 対応アプリケーションから本機を選択して読み取ろうとしたときに、スキャナーコントロールダイアログが表示されない。	セキュリティー強化機能で高度な暗号化が設定されています。	セキュリティー強化機能について詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

ネットワーク配信機能が使用できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
ネットワーク配信機能が使用できない。	配信ソフトが古いバージョンであるか、セキュリティーの設定がされていることがあります。	配信ソフトについて詳しくは、管理者に確認してください。
ネットワーク配信機能が使用できない。	ネットワーク配信として使用するための設定が正しくされていません。	ネットワーク配信の設定を確認してください。設定項目については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「ネットワークの設定」を参照してください。

5

メール送信が思いどおりに使用できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
送信先で分割メールを復元できないため、元のファイルに戻せない。	ファイルサイズが「送信メールサイズ制限」で設定しているメールサイズの上限値を超えています。また、「メールサイズ制限オーバー時分割」が［する（最大サイズ）］に設定されているため、ファイルがページの途中で分割して送信されます。	メールを分割しないで送信するときは、次のように対処してください。 • ファイルサイズが「送信メールサイズ制限」の上限値を超えないように、解像度を設定します。 • 「スキャナー初期設定」の「送信メールサイズ制限」のサイズを増やします。このとき、SMTPサーバーでの許容量の範囲で設定してください。 • 「スキャナー初期設定」の「メールサイズ制限オーバー時分割」を［しない］に設定します。 設定項目については『スキャナー』「送信設定」を参照してください。
送信先で分割メールを復元できないため、元のファイルに戻せない。	ファイルサイズが「送信メールサイズ制限」で設定しているメールサイズの上限値を超えています。また、「メールサイズ制限オーバー時分割」が［する（最大サイズ）］に設定されているため、ファイルがページの途中で分割して送信されます。	「スキャナー初期設定」の「メールサイズ制限オーバー時分割」を［する（ページごと）］に設定してください。ページごとに分割して送信されます。設定項目については、『スキャナー』「送信設定」を参照してください。

S/MIME を利用したメール送信が思いどおりに使用できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
同報送信で複数の宛先を選択したとき、2 回に分かれて送信された。	選択した宛先の中に、S/MIME 認証が設定されている宛先には暗号化されたメールが、設定されていない宛先には通常のメールが送信されます。	S/MIME 認証が設定された宛先と、設定されていない宛先が混在していないか確認してください。 メールを暗号化するためにはアドレス帳にユーザー証明書の導入が必要です。S/MIME 認証については『セキュリティーガイド』を参照してください。
メールに S/MIME を利用して署名したとき、「送信者」に設定したメールアドレスが「From」に設定されない。	S/MIME が有効なとき、機器管理者が「From」、送信者は「Reply-to」に設定されます。	S/MIME について詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

補足

- S/MIME 使用時は通常のメールよりもメールサイズが増加します。

WSD スキャナー機能が使用できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
WSD スキャナー機能が使用できない。	クライアントコンピューターにスキャンプロファイルが設定されていません。	クライアントコンピューターでスキャンプロファイルを設定してください。設定方法は、『スキャナー』「読み取り設定を新規作成する」を参照してください。
WSD スキャナー機能が使用できない。	クライアントコンピューターのスキャンデータ受信時の設定が［何もしない］に設定されています。	クライアントコンピューターでスキャナーのプロパティを開き、［イベント］タブにある［起動］で、受信時の動作を設定してください。詳しくは OS のヘルプを参照してください。

思いどおりに読み取れないとき

状態	原因	対処方法と参照先
読み取ったイメージが汚れる。	自動原稿送り装置（ADF）のガイド板、原稿ガラスまたは読み取りガラスが汚れています。	自動原稿送り装置（ADF）のガイド板、原稿ガラスまたは読み取りガラスを清掃してください。清掃については、『保守/仕様』「本機を清掃する」を参照してください。
イメージがゆがむ、ずれる。	読み取り中に原稿が動きました。	読み取り中は原稿を動かさないでください。
イメージがゆがむ、ずれる。	原稿が原稿ガラスから浮き上がりました。	原稿を原稿ガラスに十分押し当ててください。
イメージの向きが正しくない。	原稿の向きが上下逆または左右逆にセットされました。	原稿の向きを正しくセットしてください。原稿のセット方法は、『スキャナー』「原稿セット方向」を参照してください。
イメージが読み取られない。	原稿の表と裏が逆にセットされました。	原稿ガラスにセットするときは、読み取りたい面を下に向け、自動原稿送り装置（ADF）にセットするときは、読み取りたい面を上に向けてください。
イメージが回転して読み取られる。	原稿の上辺が奥側になる向きにセットしたとき、フルカラー／グレースケールの画像を TIFF または JPEG 形式で保存すると、イメージが回転して読み取られます。	原稿ガラスにセットするときは、原稿の上辺を左側に置いてください。 自動原稿送り装置（ADF）にセットするときは、原稿の上辺からセットしてください。原稿のセット方法は、『スキャナー』「原稿セット方向」を参照してください。
読み取ったイメージに余白がつく。	• ネットワーク TWAIN 以外の機能で原稿を読み取ったとき、用紙サイズ、解像度などの設定によっては余白がつき、指定した読み取りサイズよりもイメージが大きくなることがあります。 • オプションの拡張データ変換ボードをつけていると、余白が大きくなることがあります。	解像度を上げて原稿を読み取ることで軽減されるときもあります。

5

状態	原因	対処方法と参照先
画像がグレーにつぶれてスキャンされる。または地に文字が浮き出てスキャンされる。	コピーやスキャンが禁止されている原稿を読み取っています。	不正コピー抑止印刷された原稿でないか確認してください。不正コピー抑止印刷については、『プリンター』「複製できない文書を印刷する」を参照してください。
原稿読み取り終了後、設定が解除される。 宛先/送信者/メール本文/件名/ファイル名	本機は誤送信防止のため送信後、設定を解除する機能があります。	送信完了後にこれらの設定内容を自動的にリセットしないようにするときは、サービス実施店に問い合わせてください。

6. 用紙や原稿などがつまったとき

用紙や原稿などがつまったときの対応について説明します。

用紙や原稿がつまったとき

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

⚠注意

- フィニッシャーのステープルユニットを引き出すときや戻すとき、紙づまりを取り除くときは、中とじ排紙口に手を入れて操作しないでください。機械のすき間に指を挟み、けがの原因になります。

重要

- 用紙を取り除くときは電源を切らないでください。電源を切ると設定した機能や数値が取り消されます。
- 用紙は破れないように確実に取り除いてください。本体内部に紙片が残ると、再び用紙がつまったり、故障の原因になります。
- 続けて何度も用紙がつまるときは、P.13「本機の操作ができないとき」、P.27「思いどおりにコピーできないとき」、P.90「思いどおりに印刷できないとき」を参照して対処してください。本書を参考に対処して、それでも解決しないときは、サービス実施店に連絡してください。
- 手順どおりに紙づまりの処理を行ってもエラーメッセージが消えないときは、いったん前カバーを完全に開いてから閉じてください。
- 機械内部には高温の部分があります。定着部の紙づまりを取り除くときは、時間をおいて定着ユニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
- 定着部の紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。
- 定着ユニットは取り外さないでください。適正な印刷結果を得られなくなることがあります。

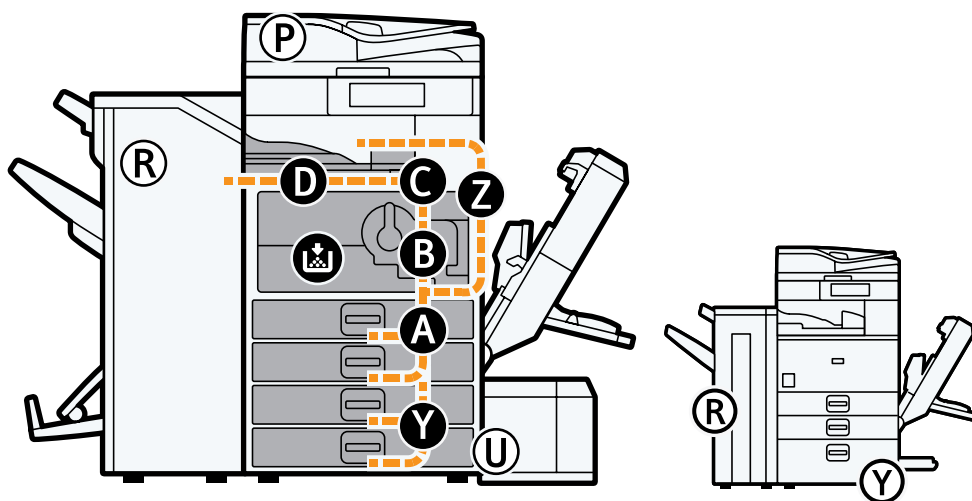
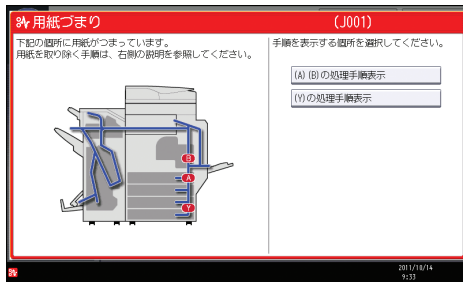
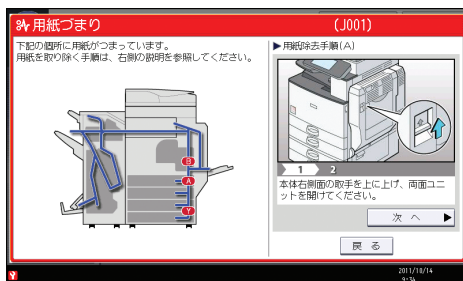
- **定着部の紙づまりを取り除くときは、まず定着ユニットの下側から用紙を取り除いてください。定着ユニットの下側から用紙を取り除けないときだけ、上側から用紙を取り除いてください。**

補足

- 本体の前カバーの裏側のほか、フィニッシャーの前カバーの裏側などにも用紙がつまったときの取り除きかたを説明したシートがあります。
- 画面の右側に取り除きかたの詳細手順が表示されるときは、説明にしたがって対処してください。
- 紙づまりが発生したときは、［状態確認］画面からも用紙の取り除き手順を確認できます。

紙づまりを確認する

用紙や原稿がつまったときは、本体の前カバーの裏側にあるシートの説明にしたがって、取り除いてください。

操作部に表示されたアルファベットの個所で紙づまりが発生しています。

1. 取り除きたい個所のキーを押します。

2. ひとつの操作が終わったら［次へ］を押します。

3. 用紙をすべて取り除けたら、開いたカバーなどを元に戻します。

補足

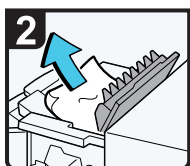
- 紙づまりの個所が同時に複数表示されることがあります。このときは、表示されたすべての場所を確認してください。
- 確認した場所に紙づまりの用紙がないときは、表示されているほかの場所を確認してください。

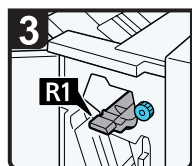
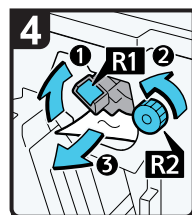
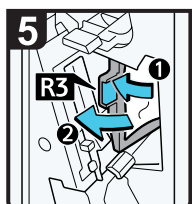
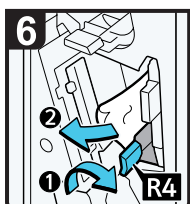
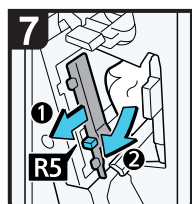
紙づまりを取り除く

画面に表示されるアニメーションまたは前カバーの裏側などにあるシートの手順にしたがって、つまった用紙を取り除いてください。

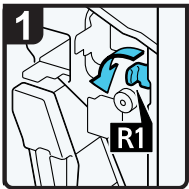
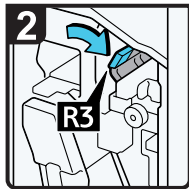
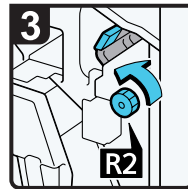
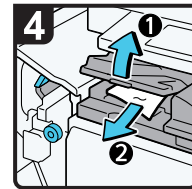
ここでは画面に手順が表示されないときの紙づまりの取り除きかたを説明します。

R1-R5 が表示されたとき（1000 枚フィニッシャー装着時）

1

・フィニッシャー上カバーを開ける。

・用紙を取り除き、フィニッシャー上カバーを閉める。

・フィニッシャー前カバーを開ける。

・R1レバーを上げ、R2ノブを反時計回りに回す。
・用紙を取り除く。

・用紙を取り除けないときは、R3レバーを左に開け、用紙を取り除く。
・R3レバーを元に戻す。

・R4レバーを右に倒し、用紙を取り除く。

・R5レバーを手前にスライドさせ、用紙を取り除く。
・フィニッシャー前カバーを閉める。

CJG002

R1-R4 が表示されたとき（3000 枚フィニッシャー装着時）

- フィニッシャー前カバーを開ける。
- R1レバーを左に倒す。

- R3レバーを右に倒す。

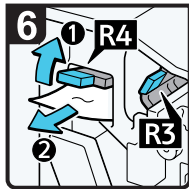
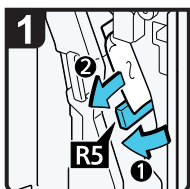
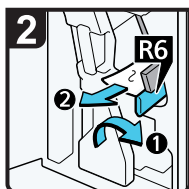
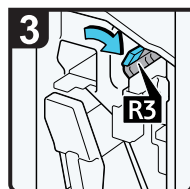
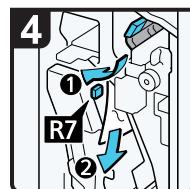
- R2ノブを反時計回りに回す。

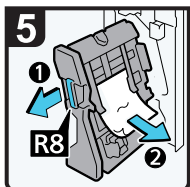
- 中継ユニットカバー（左）を開け、用紙を取り除く。
- 中継ユニットカバー（左）を閉める。
- R3、R1レバーを元に戻す。

- 用紙を取り除けないときは、R3レバーを右に倒し、用紙を取り除く。
- R3レバーを元に戻す。

- R4レバーを上げ、用紙を取り除く。
- R4レバーを元に戻す。
- フィニッシャー前カバーを閉める。

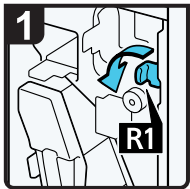
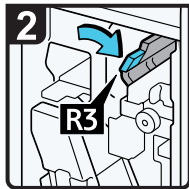
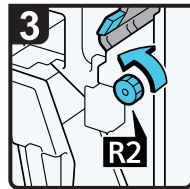
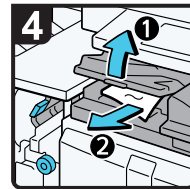
CJG006

6

R5-R8 が表示されたとき（3000 枚フィニッシャー装着時）

- フィニッシャー前カバーを開ける。
- R5レバーを左に開け、用紙を取り除く。
- R5レバーを閉める。

- 用紙を取り除けないときは、R6レバーを上げ、用紙を取り除く。
- R6レバーを下げる。

- R3レバーを右に倒す。

- R7レバーを左に倒し、用紙を取り除く。
- R3レバーを元に戻す。

- R8レバーを引いてステープルユニットを引き出し、用紙を取り除く。
- ステープルユニットを元に戻し、フィニッシャー前カバーを閉める。

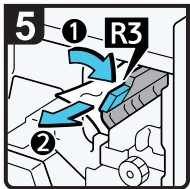
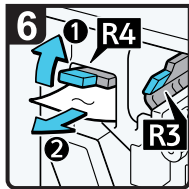
CJG026

6

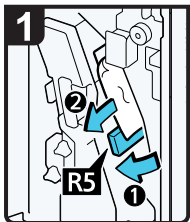
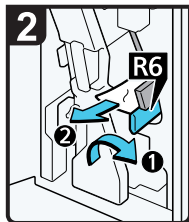
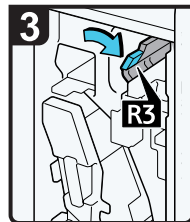
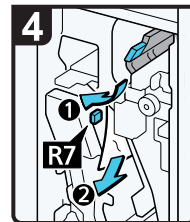
R1-R4 が表示されたとき（2000 枚中とじフィニッシャー装着時）

・フィニッシャー前カバーを開ける。
・R1レバーを左に倒す。

・R3レバーを右に倒す。

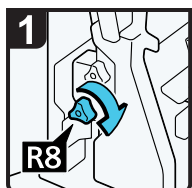
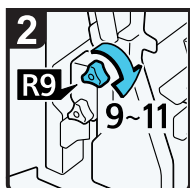
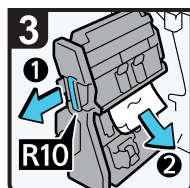
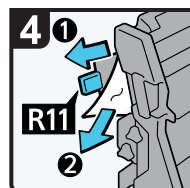
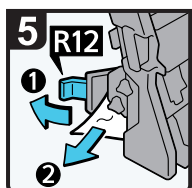
・R2ノブを反時計回りに回す。

・中継ユニットカバー（左）を開け、用紙を取り除く。
・中継ユニットカバー（左）を閉める。
・R3、R1レバーを元に戻す。

・用紙を取り除けないときは、R3レバーを右に倒し、用紙を取り除く。
・R3レバーを元に戻す。

・R4レバーを上げ、用紙を取り除く。
・R4レバーを元に戻す。
・フィニッシャー前カバーを閉める。

CJG003

R5-R7 が表示されたとき（2000 枚中とじフィニッシャー装着時）

・フィニッシャー前カバーを開ける。
・R5レバーを左に開け、用紙を取り除く。
・R5レバーを閉める。

・用紙を取り除けないときは、R6レバーを上げ、用紙を取り除く。
・R6レバーを下げる。

・R3レバーを右に倒す。

・R7レバーを左に倒し、用紙を取り除く。
・R3レバーを元に戻す。
・フィニッシャー前カバーを閉める。

CJG027

R8-R12 が表示されたとき（2000 枚中とじフィニッシャー装着時）

- フィニッシャー前カバーを開ける。
- R8ノブを時計回りに回す。

- R9ノブを9～11回、時計回りに回す。

- R10レバーを引き、ステープルユニットを引き出す。
- 用紙を取り除く。

- 用紙を取り除けないときは、R11レバーを水平方向に開き、用紙を取り除く。
- R11レバーを閉める。

- 用紙を取り除けないときは、R12レバーを水平方向に開き、用紙を取り除く。
- R12レバーを閉める。
- ステープルユニットを元に戻し、フィニッシャー前カバーを閉める。

CJG025

ステープラーの針がつまったとき

ステープラーの針がつまったとき、画面に表示されるアニメーションの手順にしたがって針づまりを取り除いてください。

⚠注意

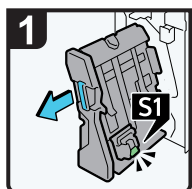
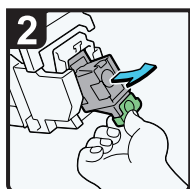
- フィニッシャーのステープルユニットを引き出すときや戻すとき、紙づまりを取り除くときは、中とじ排紙口に手を入れて操作しないでください。機械のすき間に指を挟み、けがの原因になります。

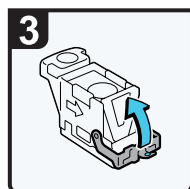
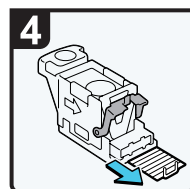
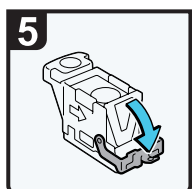
重要

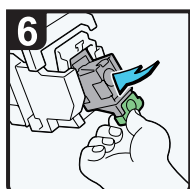
- **用紙の「そり」が原因で、ステープラーの針が何度もつまることがあります。このときは用紙の表と裏を反対にセットしてください。**
- **針づまりの処理後、フィニッシャーが針シートの位置合わせをする間はステープルされず、最大 1-10 回ほど空打ちされます。**

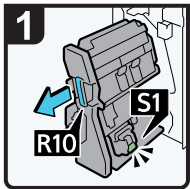
補足

- ステープラーの針づまりの取り除きかたは、フィニッシャーによって異なります。フィニッシャーを確認して取り除いてください。フィニッシャーの種類については『本機のご利用にあたって』「おもなオプションのはたらき」を参照してください。

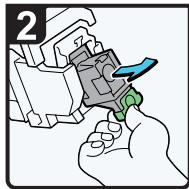
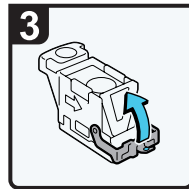
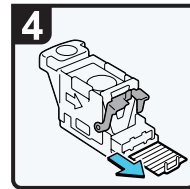
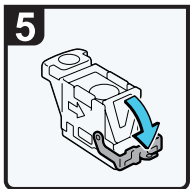
3000 枚フィニッシャーのとき

・フィニッシャー前カバーを開ける。

・ステープルユニットを引き出す。

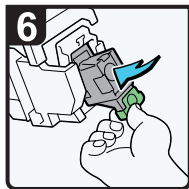
・S1のカートリッジを静かに引き抜く。

・フェースプレートを開く。

・つまっている針を取り除く。

・フェースプレートを「カチッ」と音がするまで押して元に戻す。

・カートリッジを「カチッ」と音がするまで下に押す。

・ステープルユニットを元に戻し、フィニッシャー前カバーを閉める。

CJG014

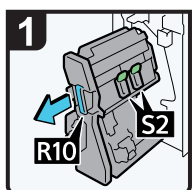
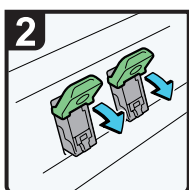
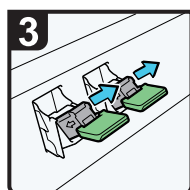
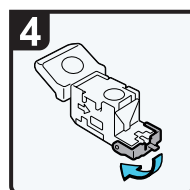
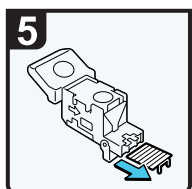
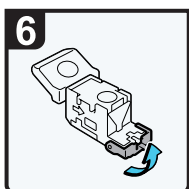
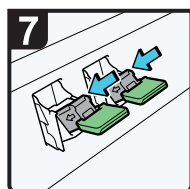
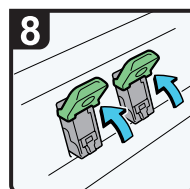
2000 枚中とじフィニッシャーのとき

- フィニッシャー前カバーを開ける。
- ステープルユニットを引き出す。

- S1のカートリッジを静かに引き抜く。

- フェースプレートを開く。

- つまっている針を取り除く。

- フェースプレートを「カチッ」と音がするまで押して元に戻す。

- カートリッジを「カチッ」と音がするまで押して元に戻す。
- ステープルユニットを元に戻し、フィニッシャー前カバーを閉める。

CJG012

6

2000 枚中とじフィニッシャーのとき（中とじ）

- フィニッシャー前カバーを開ける。
- ステープルユニットを引き出す。

- S2レバーを倒す。

- カートリッジを静かに引き出す。

- フェースプレートを開く。

- つまっている針を取り除く。

- フェースプレートを「カチッ」と音がするまで押して元に戻す。

- カートリッジを「カチッ」と音がするまで下に押す。

- S2レバーを元に戻す。
- ステープルユニットを元に戻し、フィニッシャーの前カバーを閉める。

CJG013

6

パンチくずがいっぱいになったとき

パンチくずがいっぱいになったとき、画面に表示されるアニメーションの手順にしたがってパンチくずを取り除いてください。

補足

- 「パンチくずが満杯です。パンチくずを取り除いてください。」というメッセージが表示されるとパンチできません。
- パンチくず回収箱を元に戻さないと、「パンチくずが満杯です。パンチくずを取り除いてください。」のメッセージは消えません。
- メッセージが消えないときは、もう一度パンチくず回収箱をセットし直します。